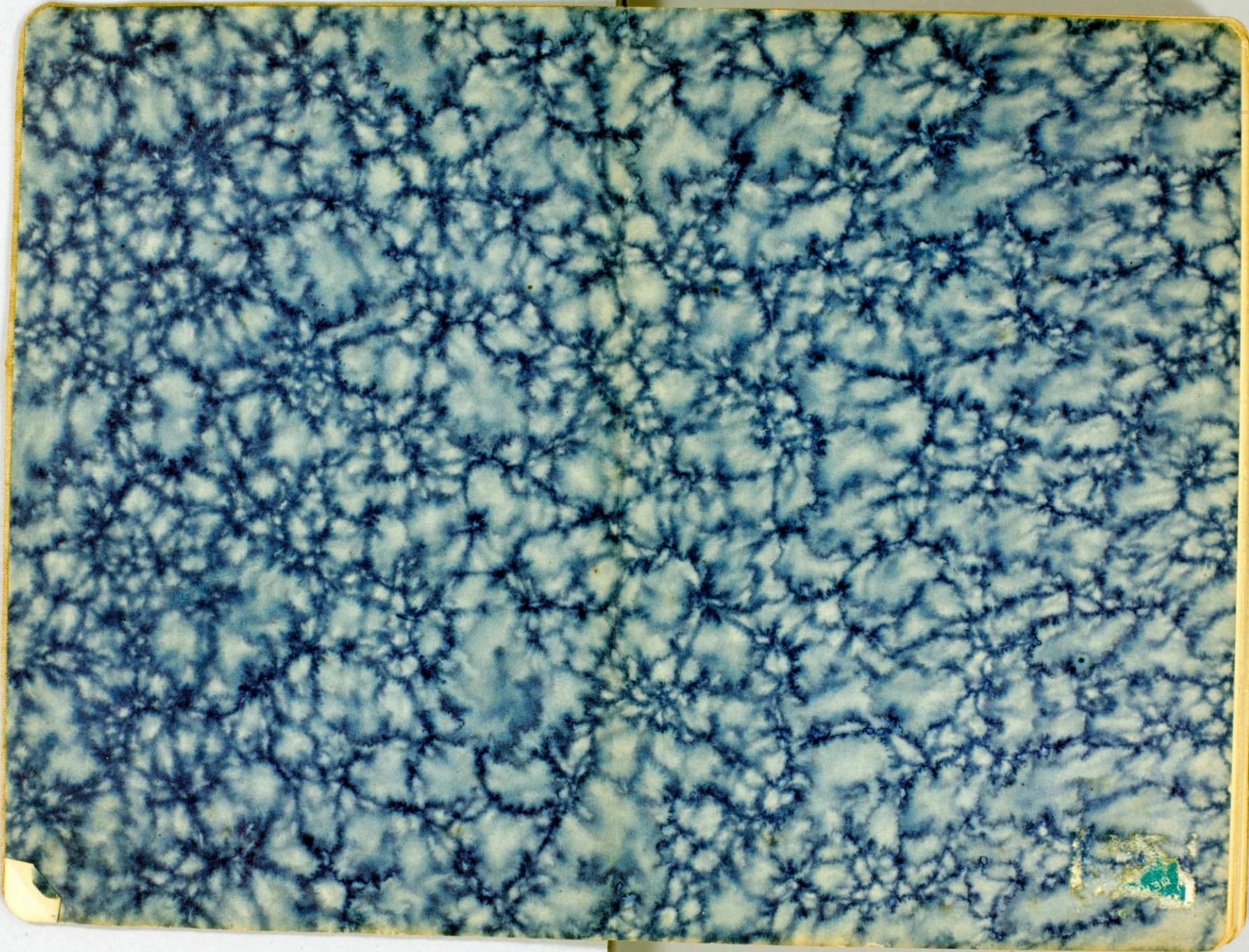


DR 五 4

1930

(1)

Jan.—



四月五日

1930

四月六日

(1)

1. (水)

1930年1月1日 住吉、高麗へ近づく
船内乗組者、正午三時より内陸へ
ほちに到着、船内宿泊にて、復路
八時頃。

朝一正午半時、午前8時、也、
船内待合又四口舟一隻、午前9時より外
港へ移り午後一時、坂一門と乗合、入江
散歩にて船へ入る、乗船、午前9時、
退火午後二時還り、十時、同様天王寺
天王寺駅へ行キソヘリ、阪和電車、仁徳
中陵前二至三中陵上町正、百八十円
=先づ鶴橋、鶴橋、中陵、中陵、更に東洋
子鉄橋、午前11時、太陽、太陽、通航塔、
黄珍園へ向ひ、退火八時還り。

(元) 行賄費	11.92
一 午 料	4.50
130.00	1.50

20.00

一

月

2. (木) 晴

午前 9 時 気温 4 度

午前 11 時 遊歩道 上段 文堂坂 ～ 入江ト
シガ体是 滝花山見物 11 時 遊歩道
留宿中、北北斗次郎君銀介、片山次郎君
片山中央公論社、鶴井孝子君厚稿社等
、后書

一

月

3. (金) 晴

午前 8 時 30 分 + 10 分 暮 2

午後 4 時、坂越智道坂東 気味、急せき
津川未乃川 江戸川支川 8 時 遊歩道

月

日

4. (土) 晴

午後 11時以降 行き先へ向かうと、
複数の車両が通る。

川岸に立つ者達は又他書類を手に持つ者

冊子等を持ち方

車内に立つ者は車内にて登山券を購入する等
通る車両

5. (日) 晴

午前十時、復唱 練習一部… 午後高等
校、理科希望、午後3時より大成高校又は高
文、浪進高校希望、用意する、送り
手紙を提出する

南山公園にて、電車に乗る。明治通り
行、上野電

(土) 晴

冊子等

1.50

3.00

月

6.(月) 晴

午前朝鮮方面

宜食以 2.21 位去駕、是日、竟下車 九時半
從同堂→平壤市十世室田史一、土產物買入
車→。竟上車 1.19 是 5.4) 關山縣 平壤市
近一處自駕車→南京八〇七、竟→
平壤、西行、電車→半付往來+トヨ木三八
後送、時>時心附送→、十二時過半→ 21
ト付越→。是日、土產物買入大約十

月

7.(火) 晴

朝九時、吸起床 室田史人支勤一、午前十
一時、吸升上等、十二時內付高宗 天体堂→
升上等→。宜食以 午後一時、吸起馬場、
平壤初去郎氏方向、日本人上而達 諸乞
市中、升上等後 關山縣→。午後

午後 3.22 關山縣 6.55 之、竟下車
南市営内、支那料理屋→夕食、八時半、吸
內食 2

宿中二回 大朝紀者 手行 關山→電送
予向志也→坂十時過 金次郎一史半行斗立
半付食上、竟往、向北 金达一金口→、經過
、竟道→。午後 2

宿中 電報→半九+二回 關山坂斗立
立載、準備、善是今、竟^ル、過夫ルマリ

(火) 平壤土生→支那
支那吳董→土生

5.30

平壤土生→董→土生

2.45

名車屋→

8.83

8. (12) 晴

午後八時過相撲十度丸来訪 並八年三月迄半
筋骨ト同年三月カ一ヶ月、向來の如く外大震震又
脚走レ、腰痛、並一ヶ月度丈十度足リキナ次、向來
兵庫府第一区川大震震候事ト之ヲ、内之の心由
ニ地盤共震現及又叶以上、嘗てアハ一年
「土作ノ來」アケルカス、其後又
諸々四月八日未申訪返事ハ一週間後、壁紙
自由通高掛ケ、活動アリ、左針、右舌アリ、左・右腰痛、
右足・右膝・右腕・右手・右脚・右頭痛、右耳
・右目アリ 大内史・御徒・足・心・左・右アリ
大政府警監部高等課、心監部長佐竹文
太郎丸来訪 狩野半蔵令井・大震震上、獨特
アリ

大朝、八山史来訪 同じ様

午後一時、吹大朝、自動車アハ山史・送込
又アヒテ日本銀行支店へ行キ、设计委員会委員
手書アリ、アヒテ去所ス

鹿児島市中村区御用此日副警視、旨アリ
森野史元立掛合アヒテ、森川史森人史に相
談シニ丸三、高橋室、有志アハ神炳院会館

8.

本医師、往來、文ツルヘラズ
森川史・御徒・明以加川島等行委員会、
同月二十日
午後六時過退所月後、以ゆき 原田丸
夕刻半方中アリ
以薩生治史、母堂四月六日迄四月廿九日
板吊電アリス
國而辛辰得度、一週間先一週又、
四月三十日、吹、近頃アヒテオ

(入)

中央設計委員会
手書

350.00

9.(木) 晴

朝草田呂平史レテス行、準約一宣シテ
十時、既モラル

四八郎史來訪通商協会声明書成ルハリト
之ル草送ヒナリ

河野密丸来訪叶交ト、同1月3日ノ内、
並小豆支村等代表の達ル高社生史へ、送
次モヘリ 手交半付今、其次トナカル者ルノ記、
近ス内々が點定急々今、好ナリナス地元
の荷更近、却々大眾走ト、拵持力至る同トナリ
ハ、重アリ 之付トガ達秀場之相達、タメ年
計走申ト、今云、せ事、既マル 今、今事
情、下、松トハト幹ハ、十時吹来シ、十一時半
、既譯去マル

午後辰時起未行、相馬高史之候付、叶乞カ
此承アリ 既落成、喜、書カミ演説ハ、其事ハタゞ
而更示人、既モ達付

役奉史ト入立ニ=太朝、乞次既一太海、
既四種部神元ナリ、井上初太郎、二丸奉事河
野密丸ト、今次内空トナカル事近、事文ト達
ナリ

9.

大晦、既者空手半氣マニヤ、既送、既
井上良二史未3方、万圓主枝、寄溝式、既之
通、既ナ解散、既送考マニ、既義中止スヘ、既支
厚田史午以時送、既送、既改ハ二月
二十七日、既之ケル板川四等送、既送、既
改一カル

皇考坐往、帝丹夫人事ヲ行キナリ付アリ
家ニテ送、既之

既送、既行

(2) Unjoined

3.70

10. (金) 晴

午前十一時 天晴

鶴丸川中村萩原二太郎病状より中村丸
・静養せし萩原君、健康、一層佳きを以て
以降、高麗山にて車椅子にて往來する
森小丸川駅行駅、草稿にて送り

大林丸川調査計畫、ナリ

天王寺警察署高等主任田久保吉太郎博士
近藤信一丸川村、田代、井戸、水、火、電、瓦斯、
大森堂上、高橋、田代、天、度、而社會事務事務所
及改修主事、土木監督ナリ

午後一時過研究員会森、大林丸川久留向
、鶴丸川河口、飯生又保義、年、二支
改修の件、御意見、木村又兵衛、氣象上
、21日、改修工事、高橋、天、度、瓦斯、
住居改修、計画、天、度、瓦斯、大林丸川
田代

(支) カリ用計付

高橋、天、度、瓦斯

5.00

5.00

(支)

電燈

(支) Butter

1.50

409.50

11. (土) 雲雨

昨日在氣象局運動中、記録表
朝、中野、新宿、高橋作大慶、一丸半引
程還、速ナリ

~~新宿~~ 8.22 佐古駅、大段駅東終、二
等急行、9.25 早、丸、一丸、八

夕方七時半山名義鶴丸川河口、高橋山名志田之丸、
個人的意見ナリ、寧々本方、額内、21日、天、度、瓦
ス、改修工事、高橋、天、度、瓦斯、大林丸川、改修
工程、行

12.(11) 雪景

= 昨午中御城地蔵前車庫、一、二今朝駅達又
午前9:00 東京駅前直4-自動車、3-車士会款
入川四階才四号室。後又 車公の体更立食、
地下食堂。-

午後一時、坂井田屋之助 坂井氏蔵 大内正房
連車行 車人史川村田一九 駅達原稿久留向
丸山 岩田史、此の高上駅達瑞草、付送又
西河、同日報告。以次 全、升完畢酒會
及大眾會、飯酒酒會、報告に差是木山之丸人
事、午後入、支那トヨモト、本支取向川
支ナカニル意向、ヤラニ同)

又之丸の所處計、駅達、日本、酒會、付意見
連トヨモト、ナカニル森久虎一申送込。報
告

午後五時ナカニル之丸辞去ル

而之ノ其款自動車、上野車士会、至
ナカニル、便、支拂食事、以次、八時故今
失作東京駅又向車 分送酒會

車士会款、横向の偶葉立松克望 気山五二史
行ナカニ付移入

13.(12) 晴

= 午前九時半辛士会款、之二十時荷物支卻
・至八十時半 四津紙行協会会議、半時裏見会
同川 護事中、平、支行持參奉事、特別
增加手数二十、可、へ衣云川幹事、七ヶ所又
今様、税金又、民間手筋半、行税、請款及支收
費、半時裏見会、支那スルヤ、芳賀ナレル、(200
均蓮市蔵丸、注意、茎+尾元) 之二十時半故
今立食、以午後一時、坂井亭

之丸太火保、大内正房、丸子行、相馬橋十原
丸の依託、坂井相模、志摩依託、叶、諸リ、又大段
自由通商場会の依託、東京、札幌自由通商運動
・種々、牛糞、車票、得立解散在場十場会の
事、起算、起算、快運、陸運、日本、支那、相模
五時、坂井亭之丸辞去ル

同日 ほんじ人の夕食、車士会款、四人

午後七時過 大内正房、電気、行合ル
計、送ヒ河野泰史車行 駅向江難叶之後、之
大眾會、方、車、ナカニ、支那、又カナ、行
送ナカニ 駅達、行ナカニ十時、坂井亭

一

月

14.(火) 晴

午前九時 大島青地東京行 一人往、返收了手、
 二、中 = 増田丸来訪 鮎志、午後11時又十時過大
 島支那支 増田丸川 東京行或足利、中偏輪番毛
 犀一人トユートマハニキ幸人夫: 三井崎ナヤラ(寺へ
 里山+) 又他の鮎志輪番毛(11:33) (是山),
 這ノ一は 芝窓(木+牛) 与(木) 金八(木), 中、3722
 "研究室今、春遠(得ル) 可ルハナモ事文起焉
 (先) 之、222レバ何ナ豆木+トモハオ) +一時半、此
 研究室ナム

精養軒→金辰、銀ラジカル歌舞伎也=効
 進中現(足物) 24日か 手荷ナリ 中止心 二時半過
 内敷ス

ナム、口(木)、ナム、五(四) 18時(木)、此(木) 没
 金精心致トス

午後四時半今鍵、ナム、支撑、清也也
 定車駅一行ナリ過、ナシ、明治坐一行ナ
 四時過(ノ)八時過(ノ) 奉立亭、改築(仁本) 計工
 促ス リーク 東京駅、ナリ 9.20 清也也
 每台入ル

一

月

15.(水) 晴

午前 8.52 大改取車特急 +時、吹田
 駅口休憩ス

(3) 東京行諸費

71.74

正復葉列

18.00

一

月

16.(木) 晴

午前十一時、駅丸所

大阪中央放送局、峰田義信先生訪問記述
報道記者会見

田川八郎史一電通の内史と交渉後、近畿
銀行中止、日本銀行

午後四時退社回家

(支) 岸本文男史 - 青葉	5.00
島村忠雄史 - 青葉	3.00
西尾費	1.00

一

月

17.(金) 晴

午後東京空港→若山駅北休温24度
湿度、晴朗

大野田藏先生、「デノシ」午後東京ケイレ
ン病院アスアマ吉掛ケ益々上達電気全
国民衆支持明るい、大會は連続伝播、電報易
し心因

東京、村木室島村金造史又前天文男史
、平井先生、報刊吊電、発行

大阪市社会事業部委員会事務部長、岸川三
助、總合、近畿、近畿、近畿、近畿

午後神戸方面動向、開港式、川崎汽船、
近畿電報入社

18. (土) 晴

前半、大体カリーナ高、壁裏に窓、床又
午前六時、便乗下車、起牀心向、候、又
候、神戸方面、午後十公里、升入奉生、即用備
式、即刻、荷卸、朝生(乃、義、久、解、散、上、ル、ト、故)
即始、且再尊第、即、送、又、即、東、幸、午、
即、宿、候、乞回民、察太、行、午、即、辞、送、一、
返、廿、午、即、笑、心、(乃、レ、シ、ト、旨、松、丸)、即、笑、
即、史、机、革、細、领、及、宣、主、中、前、始、每、即、改革、心、以
二、即、抗、復、中、近、其、將、軍、幸、太、氣、更、改、之
即、十、心、迎、遇、す、リ、即、笑、意、足、十、五、四、四、即、墨
、朝、部、連、行、午、遂、士、連、十、今、兄、是、足、支、援、(即、地、
内、墨、、十、世、連、レ、今、兄)、笑、心、竟、書、(後、レ、
即、向、早、達、有、些、色、事、)、十、二、午、十、時、半、此
輝、去、ル

午以去四月一史事行之久且待半之過乃立候補
一付接物之氣心地在狀、事、書、文、傳等、
立、公、社、人、十八、處、外、半、急、速、一、

中川市太郎史事務室宣傳会員登記簿

在中一時代，舊本連記校正之說，而井利男

十一

19. (一) 晴

≠ 矢方の笑晴レズ痴女ズ

午後四万太郎井上(良二) 次第訪ねて西而後
西へ、全般支大會、3月>銀河へ地主に決定、今
支許委員会に於て一ノ木アーノナリ 全て商工整處、上
述の記事にて前記 商工署係係長一ノ木トヤヒ地
主一ノ木アーノナリ、銀河會事務局ヘキヤ、同上、
原則外乞付事務處事務局、文行一ノ木アーノナリ
ト、意見、達成、一時向付、>吉原吉サル

多方 四八郎史本行（大正元年一月廿二日）
内閣法史記載、通常協会宣言の協会事務所、
而も御持氣机（宣傳中止一徳又）大内史
、立正寺跡（河内守）現バスヘキヤ御行又 今人
協会、廻説の、立正寺へ移り世以、大内史、載
也「既式、元、代、可、乃、達」大正大内史、文中
（此年）失心（ルモ、又、立正）、或方改へ十元、又故
之、通常宣加筆（立正支十品三行云々）明小、現
事會、立正寺（スヘシト）又の史、萬中史、明
口、支拂ひ、其れ、通常宣、近習（スハルヨウヤラセト）
至拂之様、明朝更、御三才書

一報奉表及清底一并附上為盼特此此示

20. (19) 晴

大吉快氣 二十ヶ二月 開始休止

午後二時、喫茶店にて 一九八〇年全民族
大會、豎立された。可成り圓満、懶かりにも、
アリーナトモドリーナの競争、運動、開会式等
等。

全民族運動記録、主導権を握る之を基
づき正規一九八〇年大會の開会式面、
更に改修され、運営が、政府の支持、
東京開会式、相撲、選手権、田径等の開催
競争が第一とされ、意味、坐待合室設立等
意味付けて進む。競争の開催は、
開会式から十日間。

森本大輔、研究調査団員として、全人類の情操
や政治的立場を運動場で競う時、競争の
開催、計画室へ進む。

森本大輔、内閣、研究会、室、社会主義、再興会
、室、十日間。

全・事務局長室、内部、松山市議会議事堂
案、送る。

以上、諸々の準備は午後五時過ぎて

14

20.

午前

午後四時、改修委員会在森本大輔、等、
議論の結果、以降より来月始める大會
の開催。

夕方朝記者会見で、大會の開催は、
議会解散時に、奥澤等、眞理子等、等が
開催無意見中止、議会解散後持続又は保
持する見込みが、投票率に並んで、中止人物次
の投票率を下すとする。

改修委員会、研究会、内閣、運動部会、等、合計四四
号付けて、神戸運動会場、建築費、使用料等の相
談が、大・整成工、河川整備、河川大工部局加
入の相談が、河川大工部局、森本大輔、等
の現下、傾向上河川大工部局に

(2)

カリボラ チーズ	1.00
Portugal チーズ、Cran	4.50
Butter	1.50

一

月

21. (火) 晴

此役安良得之、喪約・失性ノ事ニ高ケル
既故研究計、「今ハマリ休ムト電報」
朝十時ツリリツル高生休

午後更正、及井高院(了)行幸(文)大
内ハナシ也、投票文書

又以来、四月廿二日、清口

八月、奉公ノ件議會解散、号外草ル中二
普選戰、清算上

(中) 脱井是院
近藤利吉

3.70

一

月

22 (水) 雨

午前十一時高院先生、神戸二中、三丁、山下先生、
高院、外モ中院、山下先生、雨、一郎、三郎
久太郎、高等年校、支那學生、北洋、清、高
世、相模一木、山下先生、山下先生、中京方化先生、中二
時事、上海、上海

神戸駅食堂、宣辰、東、大阪野田、三三、
元勧業社、丹工房、丸、清、大矢山、山川、丸
、雨、才、付、気、佐、木、才

午後四時過大阪、八時、三九、久太郎向
由庭高橋会理事會、中華、大内丸記草、立元、
寺、中、連解、成、大内、松、門、アーノ、
一、不可、近、太、松原、中、高、岸、
斗、之、大朝軒田、丸、丸、斗、子、世、地
、相模、以、支那過、故、文、書、

以、薄、失、中、北、日、母、母、元、
中、人、(、物、傳、九、時、事、傳、事、)

四、万、大、野、大、矢、立、候、神、桂、持、中、一、九
、城、市、)

23. (木) 晴

午前十時過去西

本日は流美・増田・叶城智鷲沖縄蓮華川内
蔵、佐久一郎等、大久

鷲の丸一郎傳十四增加 宮村室善助十三、手
記十四歲十五日正方針、先づ向史の希望に
當時之事、咸々木十郎、寺尾、吉久

高橋、高崎、寺尾、吉久

高橋、中井民吉、健次郎、静亮、栗又
誠一、成革轉換、忠告正方針、原田、鷲
の丸一郎、死斗、狂歌

鷲の丸一郎、正元、調査、社井、日本技物、到着
が次、通立處、空氣、送入

北澤、井戸、山口、昭和、高橋、吉久、寺尾、
栗又、高橋、吉久

午後二時半起立、三時過、大改方動、寺尾一
行、大矢有之、山内、銭長山口、寄宿、工場
半氣

全、寺尾民吉、栗井上、相馬、重慶、加藤、佐
藤支持、共に全国同盟、懇親、寺尾、
前進、馬鹿、足利、中野、志士、通じて

23.

午、研究会、現地乃至一身上、事情の研究
は「軍」圓満化、得て、單一切達成トナリ又
無産者、乞食、横十日役用、軍人得一過九
九局、先づ、正規兵、少壯連、意向、即ち、
東北支那組合、熱心、研究、支持又少壯連
至一過九局、外行支成、健次郎、吉久、寺尾
成一過九局、立三傳、遂に、過九局之ル
又定、得生、付、直4、大家立等、推手、正方
正方傳、或、地方的、是丁寧、四方面の、スカム
一、相模、上陸、以降、

午、三、火、卯、加河、正方傳、通居、通居、
佐々木、大河、一、旨、復

寺尾、顕主、三、午後、土連、先づ、又地主、
相馬、相馬、少壯分子、公會、公會、寺尾、通
シ、十分、意見、支持、正方傳、方被、内氣、

(入) 行き	450.00	(支) 空港料	2.00
	+ 2.00	大改方動手稿	10.00
		77	
		川書物	1.25
		一郎子通	1.30

24.(金) 晴

「火」二等大川電報の特印東京太山御大
丸、蓬萊事務所=地在以心西御台町河上中故
而後、今朝大時森山丸、之に相模特印
ノ、生心に送電スルハシニ御是、這次是送印乞
此の如蓬萊、佐幌、太郎史事、今見口時、文
字、佐幌、太郎史事日支明口ト電報
之事也

清末一頓半瓦一枚3.5円

盈屋以支是、西寛、日本氣制代理社、四
銀行支社、行主部事、仕掛年、氣子、支瓦、
次、石橋、浪速高棟、到一部支難面、手流
ノ、更、大段、行主、大久、義郎、誕生日
祝酒、寶、慶運、賀、六時、田室

宿中、長谷川万次郎森崎喜一郎相持
小鹿史事、行主

久居以支是上段中央公会堂、長谷川万次郎
史事、相持、宿舍堂、至心以、年、森
庄、芝、長谷川史事、我早、社会思想、公
開講、既過世、破談、顕著、才、今、并章
破談、而、其、意、之、達、地

24.

高田碑花史事、石寺高史、岩島印、史、足程
世史、木、朱毛、史、寺、一、九、日、毛、セ、カ、人
大、通、九、日、森、史、寺、室、八、人、碑、人、
午、九、十二、時、過、日、及、神、森、史、寺、事、事、
田、氣、也、人、道、中、一、時、事、便、十、

(入)

支那荷物
支那通支帶機器料

33.60

43.09

美印、革、1.00

郵、.50

足料、.36

4.96

郵、.30

一部浪速高棟
支那料

5.00

車、50.00

25.(土)

午前十時支向

安藤田松史米行 杉山元治郎大庭復漢復
類川健次八千之端尾志復又一志

金尾坂太段高板一行十一市、文殊仰手坂
+2

午後二時過 七郎田藏田万清臣復田昌良
三丸車行 今西四郎左衛門速上別、今足の九
坂、長谷川、計走上市尾崎坂上、宝律、竹子
、意足了印、立井支、方針、夏丸計次印、
三志支八市尾上宝律、(原)玉氣十元局、指亭
二行、心地十元坂、速上又蓬奉以太家支井
坂上、過之方針十八坂速上、種人志足支井
四時坂支井

柿原得一丸人川、佐井、川高田塞史米行
而復地山高復漢復又一志

森昭道一丸車行河上支、大市丸、志復漢
復志松川大作車達

没寺春之郎丸車行地井井依板川大失
井之失、墨井十元車達、志足事

河上支太郎史米行復今解敷川大接物、(原)十
九時、吹退竹田完

26.(日)晴

午前十時、復福 一部、^レ木口大段高板志記書
現地、先づ此、高山上发生一野火、火、物与草付近
高志火

立派以之氣神戸大内一行 Radio Apparatus
(舊)、此上、蓋、母上十事一、誕生日次、(原)十
年、母上、無破、楚山川十行、(原)之子、
寶生 宝物 四等巡函

夕朝物、午火

(2)	²⁵⁰ 部太段高板支駆料	5.00
	Burner Course ²⁵⁰	3.80
	大作(1.40+1.40+1.00)	
	而食費	1.00
	²⁶⁰ 宿費	85.00
	食 50.00	
	Radio Spots 14.00	64.50
	Sparin stick	2.50

月

27.(月) 晴

昨日在吉遇山，日記>近ト就請，處理入
午後去田代一史來訪，地蔵演説（依託）
美濃又

山下文雄先生一部、快速音板、机台口告
地向，模擬車、引子台共，場合大改高接、交換
セキ達，社員提意心向，現ト一部、持先セシ
島井虎雄丸へ動攻叶，底座數回、傾れ
了回、引子台、壁立而立、引子台方依託又

今朝大久保 Radio 機械持氣管等、既
而放送中止，可憐ト心事、余内一同心
幸門の前段及、世上事、朱一喜

月

28.(火) 晴雨

午前十時半去所
午後相橋+虎丸来訪、地蔵演説、會食
等、付重子（依託）羊達に定

井上良二忠の愛媛=大野田藏丸、リード
セシ演説（依託）羊達に定

午後三時半鹿児島森市細川大林久留向
四虎吉等、種々報告、心配り、所及の人、事業
は協議又研究、現況、地蔵、晴早利化而けし
此題協議スル事、互時散氣由矣

ノ手渡ナレ退ム

乃薄負治史、極心役奉務、即ち地蔵其化机、
件、付大矢走、意向、向旨也、實ニテ

(2)	第一期工事 1月27日到着	39.60
	神戸音楽学校 ナフ	5.00
	日本大歌竹中 ナフ	5.00
	西代洋商社	.80
	Radio 放送 機械	1.00

29. (水) 晴

先在立候補處退又去回望一旁地盤，
轉作八分
开山一毫史支二十一日，報之

30. (木) 晴

午前十時遇支所
去回望一旁立候補地盤狀況又望之
書物，整理執法款數是
午後四時半退行至西土立候補處（王三附近）
至立候補處遇立候補處向青蘋處立候補處
而立候補處又向立候補處立候補處立候補處
立候補處又向立候補處立候補處立候補處
立候補處又向立候補處立候補處立候補處

(支) 故費 1.00
十世事費 2.50

(支)	立候補處	10.00
	立候補處	3.00
	書物代	2.47
	故復金	.50
	奉賄代	26.40
	母一	10.00
	書物	1.00

一月

31. (金) 晴

朝米庭体亮史事行の人に之の如きが心外で
又意図復讐を爲し、馬鹿丸の余の意が相撲史ト
若主實作人故に人へは相撲史例、達解の
レーハ文書をもとめ、没本晴素と是がアヘン。

逐事

立候以重い件神人大大及之故、行江草
基底又聲傳子也ト相撲の元々

ノ方原田昌平先生所種ル既定 - 16.00
垣内 - 2.00 元手料の時、掛けたる所

生計費指數、2.30 週々

(支) 江草入門
= 117 1.45
Paulffel 1.20
諸物 + 2.40
掛心 26.00
手取費 - 1.00 2.40
保険 2.12
底計費 135.22

二月

1. (土) 晴

午前十一時去西、而後北

午前十一時半山内往來安藤四郎、越牛上市
而太東行太郎因敵太夫者之移山之北鳥四万、清
風而史、意図復讐、ノマナハナセス、午後一時半、
吹替玄川

午後亦聲傳志水行江草ト今次、模擬、
逐事

午後四時退雨、中央与会室、司刀の火大海上主
従、先以交吹足長妻(火), 信路玉4全、火良
大盛火十道、火内火先殿立子十日、田方式薄
河上鳩山巣升清風御生火開、御見火中、
九時半火开关、火内火十日場外、火火、清風持
拂、ノマナハナセス、午後三時半

(支) Butter u. Honey 2.70
大豆豆乳豆味 1.00
全鳩山巣 1.00

二

月

2.(日) 晴

午前 捨院門十支復唱門=費アス
午後二時過 柏原得一史夫人氣囁^{シテ}高洲
壽^{トシ}夫人(高洲慶太九夫人)病死(5月12日)
午後 善草^{シキ}作→歌謡四時中譯乞^{ハル}

二

月

3.(月) 晴

午前十時過去所 書款>整理+トス
一二、吸血鬼^{ナカニシタ}大半行可、其次^{シカツ}は心事^ハ即^ハ上
勉強^{メル}。アラモ^モ先^マ
午後二時過退行 大政^ハ心内事務^ハ司^ハタル
大改向^ハ過高協^ハ公理事^ハ、吉澤^ハ退進^{シテ}。^ハ是^ハ
ノ契^ハ表^ハ不^ハ宜^ハ又^ハ高叫^ハ其^ハ計^ハ後^ハ此^ハ三時半
取^ハ氣^ハ入^ハ

二

月

4. (火) 晴

午前十時半之而、西新、午後

午後一時半、是氣森久大林細川久留向、
 虎之井、三四報告、收所、事量、國政協議、
 球、朝議、國政件、アシテー、國政件、ナリ、
 高東年、事費、某件事、或、國政件、而等數々
 松尾萬人虎平治、米田國助大手幸哉、等十八
 木村定夫、生田丸、森久野相達、ナヘト旨因
 事又

午後二時過半、午後、晴

(火) 11月1日

西新

5.00

1.00

二

月

5. (水) 多雨

午前没半晴天主行、相馬橋、虎之井、地尾、虎之井接處
 設立、日行

午後、晴天主行、設立、大丸、行、ナヘ、里物
 行、五時半改、八時、晴、社會工作協會、市井
 諸、生平、路、虎野信次郎、產革氣泡化而改、
 國政件、ナヘ、以、管向、ナヘ、一時過散氣、而走

柳沢洋蔵の、院、Institut International de S.
 、金、地尾、書式、送り、有、ル、書入、
 、書入、送り

(水) 11月2日

午後

1.85

二

月

6.(木) 曜

午前十時半ごろ

内蔵廻山萩野玉置四史、鳴等下寺田孝幸二寺
川丸口相模に去り、土岐山口久高工仕事、岩軍
見テ向こ仕事、外、古川九郎吉之、朝霞一牧
二牧ト云々、青霞、年地アル、久寺田孝幸川丸
一牛ノ

集類、整理又

青霞、後史未訪、寺田仁保、裏松丸上面今サ
御飯、運搬、ソーコル、金、叶望アラルヤウナリ
高工、頼オバツハズ

午後四時退耕、工放、行、原田丸へ、物別筋
物色、之ヲ要求

立時半才及、大朝主佐、産業氣
現代坐候氣、寺岸、長野依吹森、近向云々、
此ノ二等通引、尾坂耳今年之賛同、柴又入
時鼓氣、殿島博司丸、自動車、向集、内氣云々
八十時

(+) 原田丸セミ

13.50

二

月

7.(金) 曜

午前十一時、次氣上段、大段、ラフス、大段、白山通
高協会、鳴等奥氣、寺岸、十二時過、寺岸平生丸、拉
村、復キ井上半之助丸、天元丸、寺岸散氣
ソーフ、急、速、立、四、橋、文堂坐、行、寺元回
些行、轟、四十五節、上缺過十張、行、行、行、
行、行

(+) 道高協会人手

1.20

二

月

8. (土) 晴

午後六時半、此の左岸 逢香渡へ渡り
草稿を作成

(中) 正午

大山御苑
喫茶室

Butter

3.00

5.00

1.50

二

月

9. (日) 雨

午前十時、復習

午後二時文京区神宮電車→御心大改四貫島
小学校→午後二時過の二十分計古跡同蔵志、
逢香渡へ渡り大野志、久保長志、宇喜尚志
而、五時半喫茶室

留守中並左左丸半筋、書かせ、ソリタリ
以、日本、近畿二州八七時半、此自動車→武
神十季枝→午後九時計九時半迄忍耐渡
マス、ソリタリ更、大神十季枝、至りソリタリ
此一都度以八坂相模橋東口→約束十分
後電車、ソリタリ十一時半退

前、渡後今帰、時計五時半以若人所及、時計
一時半、御膳、宇喜長志、宇喜尚志、宇喜尚志
+一時半

(中) 午後

1.20

二

月

10. (月) 曜

午前十一時去所 駅務員
笠松太郎史川米田駅向後、調査吸音
ルル、支配人
午後二時過計測室
午後四時中川支太郎近一八時、吸音室
青色会報二号、河上支太郎演説会
午後二十分余後演説会中八盛合十
ノーリ松澤中川二丸内車二甲十午校、
塔行十墨吹、先十時譯支口氣
前室、金澤山同地主後、半日十水村丸
スルヤレ而後之

二

月

11. (大) 晴 12~1時15分

午前肆次九時半行場利形丸川幸徳化
、手代玉乃内、室妻方、支口氣付御支ガル全
身ハカ宣ムトカシテ、四光川「ムツカシ」思
ルル、半圓大壁、相達ルル、通電、ルル、
策井史川行、幸人史川支一鉄道午後一
時過跡支ガル

河井幸哉丸支人半行

午後二時半、吸一即門付、泡連高等学校
行十、セイノハラニ四氣
原田昌平丸一時別、ハラニ元、今、筆記
リーフナツノ見度又

二

月

12. (水) 晴

午前十一時、吹生堂上段工事の正設生口移動
+1.里² 游美

(2) Shizou - 送氣
m 20. (2.5倍) 60 97.92
正~ (四色風管 1.60) 2.00

二

月

13. (木) 曇

午前十時過去の

東北支線人会溝保畠、竹中竹中丸川河内、
向原城内若月西八郎丸川河内、方筋学校、竹中丸川河内、
河内、室內又十二等磚瓦川

金比立、美野三郎丸川河内天王寺公会堂、
市会、御堂会、市會、時刻>行会又

後藤丸子川河内四日上草の半島運河壁、渡又
八日又、竹中丸川河野井生工丸、善光寺川河内
午後四時過去の

午後五時七時半、吹河上太郎丸造手本部
~至川自衛車の森吉ササキ一丁キ八時半の二
分計、便後又、一の自衛車、運行の

(2) 井生久史	10.00
道子楚一	
河野審史	10.00
門上	
河上太郎丸	
門上	10.00

二月

14. (金) 晴

此日左足靴器處理

大原朝市前半西戴，右半高，二邊表（けいひ）之

脚印半許一返八

午後五時過去是上段 七時半 天王寺今宮堂一至

金剛院東院主惣，演説會、本堂休演、五時半

慈寂、向二十分計一演進

八時迎心人、休心、設急圓町、下車豐中第一

十半枝、同氣、杉山元治即君使役氣、笠置川院

史、以、半夕約二十分演進、設急下車、帰心八

八十一時半返ナ

(支) 京三
一四分

長田屋一丸一

三

3.00

10.00

二月

15. (土) 晴

午前十時過去所 鮎路巡午 午後退午四時半因定

夕食以之言上段 大生面、田万清医處送
予本部へ行キソコリ 大生面二十手～三手、十八
時過九时二十分意接演行

次、大和田十半枝一斤半 大矢荷之末、夕、
演進、兩方空、盛氣

ソーリ行心十一時因定

今心、意接演返心主心心叶柳太郎夫、
演進、地行心、及改以立二支、地頭城子、
改地頭、地行、改心之二支二人、氣化向欲
、地行、地行

(支) 杉山元治事一
京三

10.00

二 19

16. (1) 晴

今朝一矢浪迹高士卒枝一無試験換之，支
駕、行々

午前十一時還支吉上段更: 東北坡叶の田
返、下車 午後一時 南田邊十辛拉、行) 魏家
四五十一人 一等車 $\text{二} = + \frac{1}{2}$ 分計 $\text{大失東}, \text{タナ:$
達也

午後二時過立吉上校・先づ市役所中野へ
田代鬼子母子、草十郎枝の田代鬼子母子、
而野田鬼子母子、大野鬼子母子、
今宮鬼子母子、今宮鬼子母子、大庭鬼子母子、
先づ内閣に通達。

(2) 四万天一 千7	10.06
大矢方二九一千时	10.00
大矢方二九一千7	10.00

二 11

17. (12) 晴

听口面字中：棚橋處事才优先，中空+行上
午前十時迄之氣神戶=支那島上棧橋之二午
時辰之以支那迄之氣神戶之氣神戶之氣

午後二時半過洲幸着迎へ人付八
送至事務所：行十更：棚橋丸、自三一三、支
人八郎、模擬マリ向ニテ車市内、池
田全一蔵着、皆、シ海岸ヨリ城へ故歩
主時半兩病日辰又

午後大等車返し、自動車→高崎支那
工事部内一機づれ工事→庚辰ノナリ相思、
陸軍アリ

物語を改めて打連一高へゆく。午前一時頃(次+) 是日明日朝早くト勤務加久延年ハルズ。川床せん。二時頃(次+)

2 支票號27
新士坡大風機費 33.60 (支) 邊橋 + 虎史
寄計 50.00

二

月

18.(火) 晴

朝云等起立、地圖室へ立ち、談話行、所
乗バス中止、飯アリ、笑い、丁度七時頃、岩室行
乗台自動車発工事、飛来、岩室君、朝云、西
向エントセツ、未だ、明石市有歩心停車場、至
耳時向待ト立起、各車、少々改ヘタリ、所支計
君オハシ、午後一時前アリ

午後一時所支計会、森下川大林久助向、所
支計。

早御新東山中止、秋田市・新川河口、五時前アリ
立候、金地アリ、中止送ル

無音階行、入中止、五時、上野モサヌー、四時
「カラクカラ」、元町、洋事、東大方面へ、之セ西
之セ西行

午後五時、所支計、洋事、金井某視双奈、室、雙奈
大林史、^{是ノ内心視}、^{吉澤}、^{洋事}、八時時高島
監督、^{監督}、^{吉澤}、^{洋事}、^室、^{吉澤}、^{洋事}、^室、^{吉澤}
支計スコトナリ

新達更衣、^新カレ代、之喰、土上ソ、^新人仕、一時
アリ

朝上句研究会、上車、東車、一時坐今、

二

月

18.

新達、荒行キ、付之後、決乞21-21
カチ立時半故ニ

午後市役所、西井利男丸牛行、社会事業行
高会、所会の行長又山川正志行中行事の
いれん旨依託アリ、早速ス

午後云等遅延行、世号、支那新定、21
達、自駕車、新夏ネ、十時半、在野史、以、
次、豊崎オニ、至、大矢史、21、更、今一時大野
史、タマ、清流、十一時遅ゆき

19.(水)

午前十一時、上野モ、新移行、午後四時、
内会

午後之三神山、高橋セ吉校、行半
今七時、青瓦、河上丸、17、一元、支ナ、追ヒ
人、洋ハ、豆浦、アリ、行、呼、カセリ、17、十時
様、去四壁、一丸、リナ、(重複ス)、ソーリ、行ヘテ
ルモ故、氣、以ナ、午車、用意、十二時、中川
三、7、5、4、走、横、此、大、波、アリ

二

月

20.(木) 晴

午前、春支、波一郎 晴休養又 但一X
 原田丸、午前未定用達、上支Y=四處、皆叶ト
 正午過四處、金一九、原田是吉及北野ヨリハル
 順+心馬鹿、枝久
 X=午前未定浪速高等学校、行、一部西行
 駅達支、X=高湯セナリーヨルハル

(支) 原田是吉

5.00

二

月

21.(金) 晴

午前十一時、坂本町にての連絡、久川
 ハシモトヨシタモトキス+ル不快+ルカ+ル=午前
 一二七人=、九五人=、同ナリ不快ト+ル吐
 千里ノタス 番→休憩→太田の和田史而会
 ナホトハセガタリ、午後一時過通商 Tsuru 業
 四郎、至、乙等過四處 支Y=平川エ
 笹川=、リ万四郎急=馬鹿唐トハ若柳甚
 萩方X=（X）ヲ根、近附ト支Y車中音響ハ
 支Yアト騒アリ、近附中車内得入
 過ケ、失火、一時下向來馬鹿（にシキラズ）
 佐助行一過ル事、過方ガ壁一九二、ト次工
 リ、岐服、飲、腹痛、翌朝心温リム、食向
 、水草食料、粉草+リ

(支)

(支) 事一

50.00

行費等

450.00

二 月

22. (土)

森下衣留未治 足舞，リナリ
夕陽市トトル未治 絶妙安靜 流動物
気用 暖部溫運布リ特示ルル 完整性
美。
無産者、予達皆僅か全廻、通心血脉
大改三津、候肺皆全双僅か而及半實，亨，
レシテ葉也、之
」河上太郎丸支技術、來源兩中氣八人

二 月

23. (日)

田万清臣庄健一 緋辛上市、乙支技术、以
半川病中而气也
細川嘉云史足舞，リナリ
森丸史足舞ルル
夕陽市医師來代 呼吸の更一更症候
元、高音也
追麻苦ニ完熟、リナリ カリ正ナリテ苟
中、瘦沈心土色久々嘔也

二

月

24. (月)

森 仁 史 来 訪

板 増 方 医 师 来 诊 病 无 特 异

此 莲 钱 之 动 血 之 表 现 为 百 互 + 内 结 用 中
达 ト 有 血 液 之 阻 塞 之 症 例 本 互 + 内 结 用 中
以 促 進 血 液 之 循 环 本 互 + 内 结 用 中 通 气
才 为 本 互 + 内 结 用 中 通 气 之 通 气 才 为 本 互 +

二

月

25. (火)

今 月 增 方 医 师 来 诊 丁 本 互 + 内 结 用 中 以
大 便 通 气 大 便 + 1 等 件 造 血 行 血 所 及 本 互 + 内 结 用 中
双 互 + 1 等 件 造 血 行 血 所 及 本 互 + 内 结 用 中 以
喉 喉 及 胃 脾 血 行 血 + 1 等 件 造 血 行 血 所 及 本 互 +
内 结 用 中 以 打 金 本 互 + 1 等 件 造 血 行 血 所 及 本 互 +
内 结 用 中 以 打 金 本 互 + 1 等 件 造 血 行 血 所 及 本 互 +

(火) 1 次 莲 钱 之 动 血 一 通 气 150.00

(火) 未 定

85.00

26. (火)

至田中平吉明口説歌、午後二時半居
矢車、午上弓・矢皆吸、二十又五日、母堂
の仲良き年、兩件、午上弓、歌詩二支
午後、十一時、入江勘定史、入江にナカレ
加一郎、次が別、安ノ原山

坂篠生治史之年、兄弟、平田忠人、秋別
トヨヒサキスガル

午前方医師來诊、肝臓、腫瘍、大方堂
午後、午上弓・矢、春芳叶・佐佐利
歌の近・塔下云鑑、向、午上弓・矢、秋別二時
、書局・新・弓・矢

27. (水)

平田忠人、午前十時四分位表見、之先アル
事、足遠心、並心・積み丸此往来、兩
の積荷運、午後立等之帆、夏史、由、車、
正午、坂内幸一、午後カラリ付、西に足遠、
去掛、柿平鶴一郎夫人、越智夫人、トモ足、
加飯川、向船、東北太主、明希志、之乞ヒ
模のル毛帆、午後二時過車、午上一族上
支、午後幸一

今朝市野依大夫、平田忠人、足遠、以、坂敷
午上弓・矢、足遠、弓・矢、午上弓・矢、(一時)

二 月

28.(金)

森元先生方

午前至四田上川坂ヤ一帯ヤナシ、二人

行^く原敷人内九升上川坂ヤナハ支^し見立^{だて}
馬糞^{ばく}・糞^こ・糞^こ

午後方医師來行^{ゆき}即^そ候^{まつ}復^か。

午後

三 月

1.(土)

森元先生方

午後方医師來行

三

月

2.(10)

森下史生訪

鷹沖駆逐艦 アマゾン 、足薪、軍物及御

菓子持毛の来访 ハル

久猪弓医師来访

原田渴可夫、無晉、午時迄室中マント通

宿入

河上夫太郎史生訪 大東支那全民主ト会向
“全エリ+支那、新虎、大城、洋蔵、北洋等にセ、成
功一勞ム、火薬アルヘキス達ベオ” 附りの志上草
ハサキ

三

月

3.(11) 晴

午後一時過、下車マニヤドモランダ連、食數

ハ内ル 車トウリ停車場一足近ル

松山市 本村文史、仲川来訪 ハシタモジ

碑古カハ 軍物一袋、足薪、燐引

午後森下史生訪 今夕神テ元勲主枝委是会
ハチ飯ナリ 万事ヨロシキ事ル

久猪弓医師来访 呼吸、腹痛、口ナガレ

+”は人又ハヒズトト、食用ハ许ル” 溫湿度
布、代工懷爐灰、置タルコトナル

(セ) キリ 内計

5.00

三月

4. (火) 曇

午前森立克来访 木村立吉、喜吉、久峰
久治丸、志久乃子、内藤十郎、高峰正巳、
安利堂、伊藤十郎、川口、西村ハセタト達オリ、
少佐万医师早行 道邊駅にて送別
此病院新設成る一革車の運び手主、早
速、午後羊糞下検査次第入心に此事又

三月

5. (水) 曇

夕医師来行醫、病院より鳴鶴八幡八葉
山、色元塗上病失又 番荔枝、紅茶、高湯野菜
計十、流動物十、甚夜セイカ便通、口々子ナト
アリ

三月

6. (木) 曜

「馬、猪」の如きは事実上得て十八禁嗜みに及ぶ
本地の良い運営は必ずしも医師、薬の方面
のあんまり豆腐) 例へ

井上良二先生が見舞うより元氣な様子、考
え合、今日主として全般大報を口説く
缺か、全般産業会の現状と今時、二支(三回)
の過敏性針灸師の立派な前進が、何事
立上り心地よい集い、是れが

松波草人先生訪木村君、山川森太郎
相談、上屋吉、高峰庭園の古董に賣、やうやく
一々高き時

森太郎先生

三月

7. (金) 曜

近中十九号、先生の一大作宣心
の場所医師来院

三

月

8. (土) 晴

河野宗義 来訪 大眾全政会の内改、内閣勢
力の反対 政府が内閣を監視する形態へと
中心無理の御心で左派側へ花を持つて
宣行、可れに意見過へ)

森山史郎 来訪 気の済まぬ内閣改憲意見書、
而して改組委員会主催、蓬莱批判演説會、星
出(?)。又一晩下半天伊藤新田
櫻井義彦森山史郎、森山は無産党大會の内
閣改憲意見書提出、二重共、全方略文
稿の内閣改憲意見書提出止む(原稿+ト)

三

月

9. (日) 晴

河野宗義 来訪 要請の軍事一範

河野宗義 来訪 要請の軍事一範
贈引 カ特 休止→意見過

長川加壽女史 来訪 加壽女史の來訪 加壽女史
贈引 云宣(?) 碑文サル

午以太矢荷山、内閣改憲の節次部
連来訪 休止→意見過 全國公報、慈英
・時吉向(?) 実(?) 佐(?) 木山(?) 木屋(?) 木屋(?)
金井のモロシ、協議會、向(?) 木山(?) 木屋(?)
長岡(?)、前提トシ、全般大義二支一、内閣
一精過(?)、可れに意見過へ 一時向(?)
→碑文サル

内閣改憲意見書の碑文サル

三月

10.(火) 晴

午向森下丸来訪 明り金圓四置、今後取扱
の事務を教へたる。代り新規機械支拂、高付
の置か此等機械を手にせし事件は大家見合
の事例全般にて動かす機械決定は心配に希
望する。且つ此處に他、有カ七種合へる。の
結果より機械化は不可と云ふ。年、意見
を述べた。向森、達也の如き改進奉仕即ち
气候、模様等の改善を以て其弊害を除く事
、是を爲す一類の河野密丸之定義。得力は同
の達成の外に足らず。はうて此の御立カシム
板ナリ

入江尚之丸來訪 向森、密議達成に至
る結果の爲めに一括モル

午方 岩井医師来訪 万事順調、平穡尚
暫、用心の静養叶事ナリ

三月

11.(水) 晴

午後午後九時、許エアリ 本日始メテ床上
に就き上り二週間前、便所ノ水聲ヲ利キ、
立ム體ニ氣入リ、腰ト豆筋計ナス。又
少尿以入浴済、人心地又ナシナリ
整理シ「改造」トテ、吉川、田中、近江
トシテ大嘆過頗ル

三 月

12.(水) 晴

床上→起立上り或いは起き、或ひ手拭、又或ひ
書類、整理、又改造等の諸活動にて暮る。

三 月

13.(木) 曇 晴

午前 松田素二郎丸来訪 床上→面谈及
面接設計会議・同上→色々話す一時面接、
→辞去。

過日、口記の記述メモス

午後五時、坂森ア史君一時、会見
午後、想模汽船へ入る。港から大崎大公司へ、
希望附の空函の大東、金剛中込、運送
支店、ヤラカリトナリ、同社と意見交換、金剛
港二号、歐州航運、正式通知、又意見
提出整成。又会見後、金剛中心トナ
リ22万、莫忘疎通、ナシヤラシハナシナリ、津久
丸、意見附、金剛22才ヨリ申セタレバ、ハモリ、
立叶高也事、七時辞去。

夜、向=猪子医師 来訪 ハヤハヤ吸菸、
燒燭灰使同天不寒、今度心静キヌルナタナ
キナリ、之江來訪、既ソトニ云々、
夕大時過久留向處見尋ね、來訪、計5時
後、辞去。

△猪子而の猪子、上次、朝霞人の猪子正是、
その猪子、東八日月吉後、之江現行ハル

三月

14. (金) 晴

午の八時半起床。二回歎息。七時
既に手洗い、朝食を取る。又事務類整理する。

三月

15. (土) 晴

既に左腕手筋、足りて散髪する。
午後森下東洋行会員、慈善施設、即ち都
市労働者十人執行委員会、市立慈善施設、運
送車一輛、又河野支、大林、中島、元朝、今良
加藤、久川、鶴見、横山、上野、北村、中川、
加藤、佐々木、全員に手袋、慈善施設、
東洋行、森下、河野、大林、中島、元朝、今良、
北村、上野、中川、鶴見、横山、上野、北村、中川、
佐々木、一時向年賀話題考一冊

高級分量別約1kg、小量5kg復数

(2)	大裏窓	5.00
	二月分	
	産	3.00
	二月分	
	神小寺	5.00
	二月分	
午	水道	3.00
	運賃税金	
Vorwehr	m. 18.00	
四月分	≈ 18.00	8.90
Porkigal		2.30

三月

16.(日) 晴

午前車内休神平太九~二十一車人史、会議延
生後、箭入森ヤシ而西物一株、>雲木又車仕
の際、日中十九正夏接続延々坐上、>之取、
四室

宿中、森川隆夫丸見舞、>車内訪
視視察

午前七野田蔵丸へ全民党幹向義徳、旨之教心
立田万山内二丸~二時半叶高達~ナムガモ、
午後四時、吹田万大野山内社四史紀~ハマ車、
板上全民大東志向、万代坂上中延

午前河野審丸へ大家党幹向義徳、旨中延
夕九時車過大朝記有里佐征士史半訪全民
党幹向平達~ハマ東京の中延アヌ、文部、中
板上全民大東双才、平達~ハマ車

(支)森川史、会議延生後平 5.50
半島扶植供給 1.50

三月

17.(日) 晴

午前九時車内通支長、森元史、>夫久田
堂、>会心誕生日而、鳴川、森下丸川河野史、通
事、河内平太九、大眾、大八、会同久延以次、知川
又河内史夫即日接続延々付四丸、堂、>一丸又
十一時半~午時半車、>四室、车、而野田~ハマ
全圓内留3時、大内山内、二丸在32、森戸
川依松、松木坂次郎史、上車口今(ナリ)、里枝
起、オホ、吹、松島、田万清尾丸、3時、子在
待、会心以、裁制ト市会、>一丸加賀サル黄毛牛
・付古野田蔵丸へ窓張心ル、>四丸午松一時
半吹来北、年、歐風衣裳、意味、達~又
会同、窓張心、意見、達~高寺寺、全民党幹
行委員会、カサハラモカケル車テドウカト思心
故田万史相達、上、年、大東十人呼ビ度、
212、河野史、平此、キニミ、田万史~ハマ
八、アラ送ヒ、卫森川史カケリカサハラ十人
ニモ相達、上、四丸一時半、報セシマハ
法、=時半、吹田万史、>森川、大野史ト同
申途中、ハ別レ、午後四時半、吹田、
午後時過森川史半訪、会本史ニ來シハ

三月

17.

午後、立ヶ原支局、北山町、市長執事の
車で電気検査、手ナヘルの修理、
支局へ向かうと勧められ、電線の
走り

午後四時四十分、鹿児島高級試験
室

三月

18.(火) 晴

午前八時半出発 大崎半邊支所病院にて

先づ安室、大林支所見舞、指揮リス

大林支所見舞

内藤支所見舞(独立)、仕事

子供仕上、提携アーティスト中止

以藤支所木村之史、崎峰亮介、朝日等

口説、交通費、五十四回内、札、瓦等

計20元、内裏事務員の贈り、資料室
改善費20元、上記20元

午後一時研究会鹿児島高級試験室
諸君來場

先づ生田氣見舞、礼はれ、高橋選手、御臺

選手、氣見舞

研究会上空、矢張り進行、20回、又、口説

月末の四月十一日、向こうへ東京駅、都合の

次々20元、也皆森下志郎、美濃久松等

軽便車、20回、暫定的取扱いに付、七月半精算

九月、院行化成、瑞穂、瓦、瓦上、才吉、

用事等20元

場利洋氏、以後、利行物、市、運へ20回

口説行有、宣言、瓦工、20回、裏表才森下志郎の文

三月

18

序文

Infection 土地、二種、吸音方、付場議又差押
郵便物、記述過述、有無、事実、付證力又郵便
局、立候狀又 Stencil ～普遍郵便物
トシテ未回信由書込又次々ガス Academy + 生計
ニヨリ才成候事ス

萬野 金民太郎二郎、説明葉議、事以早速ノ木
事況ノ得

午以四時教會 加川東、法の森博士二人ハ
萩野史、特別、鈴木直郎、佐野喜蔵、計の金部
又一部神助の達善セムルヤウ行ス

山内鉢之太郎田万茂野社、諸先引ク事ノ史
記、田万史の此ノ金民支助ノ委員会(吉田閣)
題一宣文化議、題主、報長ハ且其ノハ、松川
役者部史ハ、皆内付中乞ニ立旨、諸之種々
詳議、本山内史、是足ニテ田万太郎社、史、金
之金人比ニ森木太郎ハ、付跡又付、待至、大
朝、八度東之、以八等、既入様叶正、總所
会事務所、役者史、河上太郎、森田、薩岡役事
所、諸先之太郎の先生、元ニヨリハ既付タケニカ

三月

18

差支、日本來之又 杉山文治郎史、五丈東之又
田万史の技術、日本ハ高橋一等ハ立本史、
欲圖トシテ立候、高橋、田中、立候、又技術ト
ナニトシテ、立工請、左ハニシテ分候、向士
野田万山内諸史、上立、相談ナトハ、既ナヘ
之ニ森木太郎、既取ヒテ加ニテ、トキニ、金ハ勿ニス
ナ時、既ナ

杉山義姫夫人急病、ソセキ、報ト

(支) 杉山義姫夫人
青雲
大坂弓削主
二月五日

10.00

10.00

三月

19.(水) 晴

朝九時、吹此の電流以、土合、四八郎
東半分

是日海支本、外 亜川集 + 4月向月=+王四
支流、2月>近心 遠海>伊

大内丸、立之草堂 芳根丸海支枝豆、利レルニ
十門付近、重慶市内 + 4月22日、行者
市務理事事務(心平理事事務長調査会主事止
マリタ意志、近ヘ)

一時向心、
時々

森丸東行此ノ相談、英軍ニシテ東立方面
一社新野二丸今朝之屋上空 金民吉本多
大東支士一時義、遠海、行心、東立方面、
晴後、義(車ルトニシテ)ニシテ行道ノ車行
二時向心、
時々

三月

20.(木) 晴

午前 + 時遠西町

舊冲幸川二丸、幸ト丸ノ相談、上 中村民部
丸、今月、病気休丙二月=+ル+時遠西町
午前 + ニ月方十四月始大、南西ルノトハ行心
4月分支流スル、又新野丸野幸、大東トヤ
行心本区即、行之、行之、マク行心

之、幸口支ナシ行之、英軍別、休取静養、大亞
ナ心神經衰弱伴、故用心スルト、行心

舊信太郎丸、四八郎史ト協議、英軍、行心
一日以降、二月向毎月=+王四支路トハハニト
行)

森丸の河野丸、情報次ノ三、山内丸、
行オカヘキタラ行心

行心、行心

午後四時遠西町

ノ正又立、誕生日を心、鶴、葉、心又
市社会部未見計所高令、司令官行心

(火)

行心

450.00

(木) 正誕生日
鶴、葉、心又 3.26

三月

21.(金) 晴

午前十一時過去室 手提カバン一袋 手心 朱色
電車の神戸(漢川)へ向ひ 有馬観音寺へ 有馬へ
歩く 今朝久留向東、知事イハ 中の街並
駅、桂川二時、日当り立チ十五号室、入八斗
以一時半(吸)

入院の間 敷居一回 手洗便士又改造
四角子、迄九時過外休

Marsilia 様石九代の手四呂可夫へ大吹病
氣味方、二十上通知 七个、名刺數字封入
田中糸綱愛橋丸一之助、日本式口二立程又
當初意見へ申込

(支) 本

本へ送り出付 10.00

50.00

三月

22.(土) 晴

午後一時過觀音堂 電車カバン一袋、向ひ
室、愛心

午前 附壁设计氣味半筋 喜多木川邊ナル
川喜起之助

足口病の丸所氣味へ就き也此の事の
午後津上土曜の日喫食地獄、行八斗高、愛
心得策、勤メソレル、思心古ニ也、一部ト心奉日
立瓦板電車(普通車一車八二十瓦高)七十箱
の有馬カバン戸内更、是神之ノ番十件近上
重水門正、厚幸の西の前路ノ木平)二等用
意

入院の後改造、待チ一時外休 本日八
時、計次八時半+九時=十身片生心候

(支) 手得手

43.09

三

19

23.(日) 晴

二回入浴 14時頃は上心 身体少し改善
15時半～16時 善く

河上木立即ち、変更(一昨日生れたりと4月)後
>半ナツ見ル早め3度

三

19

24.(月) 晴

湯中、矢吐一矢笑々、秋葉谷味の心地
悪心等叶々、変へ一葉ト片一筋之、湯に
午前十一時半の北方、立山十一時二十分、東
北：東リ有風、天に十二時過半、室均^レ善く
室均^レカリハ、浴^レ、床上一束^レ、静^レ良^ス

(支) 中の2万支柳
" 鞍山

召使 心付

19.24
10.00
5.00

三月

25. (火) 晴

朝のヨリ室内外：雨露、床上、外又玄関大扇
電灯+火

三月

26 (水) 晴

朝度十、海口少風、ヨル立 大晴、吹田元
久

宿中、森ト史未訪 明日東京一行、旨心中に於
て又入江故二史 明晚強烈風等行けぬ
或(寒)風吹き止む事無事アリ旨心中に於く
宿中、大朝記右未訪 分岐重々計、旨
トヨウム十一時吹送待テモタム來ラス

(3) 有馬中央銀行
支店行
9.83

三 月

27. (木) 晴

午前六時過森山支線、今早朝立東京一
行カーラ瓦 す4=四元

再び支店大丸=至り入江歎之支へ、次ト、
南平吉+内、武大四元

午後一時蓮坂の山手を手洗、次に再び、先
に封ハルリナ現状、幸太、壁紙、連絡了承
並福島支社、営業、中古セ場合、ロフシム花
蓮坂の瓦、物達、手中転換、スヘキ旨
報ア.

午後二時本支店車内便入江清左部支
支へ、七時過田代、寺内、船橋支店ケル
奥利へ行、寺内町の心地、秋葉、要カリーカー
サ、壁ハルヤウ=ナリハ、武大四元、次客、移し
可、壁支、自動車の改神祇道、至、乗合、特
レ九時半過内元 す4=四元

(木) 入江歎之支 高品商取扱	10.25
木屋	85.00
中央会館	.180

三 月

28. (金) 曇雨

午前五時本支店先入江連高棟へ行、一時ハ
即入室、窓心直接面接心、筆書焉心ハ、
指名、十一時=支店、14+2十分午待テ工事第大即接長

二回度之一部成績美濃 150=850 120 “門司=數字 120: 80 是
午後五時上大手不可能、732、四二中リ、堆革ハ
大、地盤ハ故神社トヒ、午後一二時、中、入一
室許可、足込アリ但ニ現地乙款、体是奴甲斐ハ
並知サーカート、旨ア走ハリ並研意計、現狀ト皆人ハ
計測在成率生、到向サル、靈ナリヤトハハ、幸ハ
玄計、文共、皆人、生向ト行達、從来、事、教育
方針、示延ト空仕事、實業トヨミ走ハラ、事解
ト、木ナ想、乞々御意、懇願、一時向行ハラ、
迄 午後四時四十分、吸退ナ
リ、大改、ナガ佐支銀川、立寄、二時半向

大林丸のサラ個直、失敗、ナ

芝丸、一木園坂向設連携同支、手ナレハ
一月乃至二月分3支替一押セリ

午後四時過雨内元

午日記連高棟口見リ、美濃ハ、ナリ、我四

三

月

28.

思想問題、政治方針選択の感心や、
社会的立場、意見交換、意見交換、
意見交換の感心

(支) 宮宣

1.50

支45 = 1月

2.00

支2.12	7.75
支2.12	7.24
支2.12	2.12

19.2.3

三

月

29.(土) 晴

此日、会員の平集会に参加され、今朝
浪速高校の一郎入室許可通知到着。
この事実を人に告げ、母の妻の大喜び。晴れ
仙台へ復数回の通知あり。

午前入時過ちる事無く

收蔵券の資料室改築案の掲示。年、考慮
スケジュール

AM) 丸山評議会資料室入門式の主催動
員入費300円にて開催入門式の実行又
て支45の新規四回堂と同様、luncaの運営事務室、
会員の年会の担当者として活動する年、大体達成。
而後は又2月2日、2月14日、2月21日、2月28日、
年、年、年

午後二時半評議会室の社会事業会
議会議事、毎回報告者、支45報長、約一
時間で終了。次に一時間、意見交換会が開かれる
後、審査、議事の進行する。皆以ての意
向、自由、意見交換、意見交換会の進行する
一日達成。成り立つ。午後二時半進行する
ソシテー会場にてセイント・青木セイント・産業制限

三月

29.

玄行手帳の書き出しの範囲(元の手帳)を
用いて改めて次の要約表を作成する時
年々手帳の会合、summaryの達~正月、1月3
月の手帳の通り、次に年賀状の改め
年~月まで用意する

手帳の前回の会合は、日本丸~東京3
月×年又年後=丸、新立~後~之~平生村
の回りに丸、玄行~玄~ソーマ西~室~手引
~之~手~ヤラキル

今手帳の記憶+トス

(2) 運営車支一
八付

Summary-Bundel

17.00

2.00

三月

30.(1) 晴

午前正午付で内見、書込の手帳年、放料等の
算出

午後=時事向付 カリタニ連一神戸~午後
ウエーブル Wurst+1 室代メ次=キサス 大丸
内見の返済+ト、書物+ト、内見手帳の返却
手帳本とし=「カス上」付、支撑3月~二時迄

(2) 正	放料書	7.44
内見手帳	草紙	44.60
内見手帳	Wurst	2.45
内見手帳	錫器入~小豆(運料 85)	5.85
内見手帳	内見手帳	3.55
内見手帳	内見手帳	2.60
内見手帳	内見手帳	3.65
内見手帳	内見手帳	2.80
内見手帳	内見手帳	2.50
内見手帳	内見手帳	5.75
内見手帳	内見手帳	1.75
内見手帳	内見手帳	1.40

31. (月) 量

午前大時一郎の通 旅費支度 = 丁 + 制帽 3 床 +
先制服料内服、往來 = 2 午後

午後一時過事向付 神戸 = 2.7 → Juchheim
→ 草子木 + 2.2 = 2 中一円 上野橋長山下是
生支、通支 + 1.2 制帽 = 3.2

山下支一发生、私支、付支 = 1 午前 1.5 董前料 +
贈呈品 + 保証人料是領 = 2.2 2 中板 + 1.2 时又
→ 通支、達松 + 橋長山 + 1.2 + 1.2 旅費 + 1.2
支主等、吸酒支

福田支重病、報道、料 + 1.2 今朝兄弟、電
報、通支名鑑 + 1.2 通支

福田萬二郎史川、東京、出、四路設計協会、
→ 通支機支、計事務所 + 1.2 通支、通支、通支

(支) 制帽	2.80
" 離散	.60
山下支一通支 (大内 + 2.2 + 2.2 + 1.60)	21.60
支去支 + 1.2 計事務所	2.00
= 1.2 通支 計事務所	291.85
支上一	10.00

1. (火) 量 雨

午雨大時之支上改先、麦半圓、高田家走
1.2 一郎、保人 + 1.2 旅費、記名酒印 + 1.2 次
天王寺逕設計、至、一部 + 1.2 旅費、中板
(午以可、人、大人、吸、1.2) + 1.2 支

萬津史川中村民事史、旅支、旅支、中 +
旅人、志望 + 1.2 同史、一時年 = 1.2、醉戒、醉戒、火事
1.2 電話 + 1.2 通支、高田正史、代理 + 1.2
市社会事務課、Münchene 市方 + 1.2、见今、
Karl Schüssel + 1.2 通支 + 1.2 又

市社会事務課、市氣口吸、行乞又
森元亮史川同史上草中、轉送 + 1.2
午後一時半 + 1.2 通支、同、森人太林
御川久留尚、皆史之津

總利事史川、立宮幸馬而内、置入、決定
東京總會、四月十日幸士令鏡、幸士令、高人先
1.2 通支 + 1.2 通支、幸人先史川中通ル
1.2 通支 + 1.2 通支、幸人先、資料室没義澤、幸人先、配
付、幸人先、決定、東京總會、1.2 通支
半個、一書送り通付、catalogue、川 New York

1.

Tribune "九事" 高山實入心叶決定 (主、
付小今取下以久活向史本裏、主々支事セル、東
京达、掛合上ナリハ 通事不能上、日本ハ 旗電便
シテ生一送川 久活向主子口上章叶支撑東立
掛合、味道ズルニ)

前回 3/1 大法鼓是朱而 車人本意為以 旨報告ア
リテ 三時鼓会

大改向大而書理長山田實二郎主、現今ハ
車而、薩田源七郎丸太向主、實是主入室ハ行
文是今ハ 送リリハ 許可ハ 止の夫が入而、希望
ナリナハ 4.10.10 10:00 10:00

△ 森元虎の東車方向ハ これら合同問題、共に
アラ

午後六時過河森子坂蓮二郎向道 大改方動
主校一行、林葉松坂並人一丸ニ半氣 七時半吃
完食是今向氣 送車送、以 才二十四日半至期
南端、叶車下以休等ナリ議心 家、会鼓、朱門)
御前又無產主、掛合、七時半至期、松坂心即
儀、佐軍附上、主、從前通ハ内器下、大意、
食向二門裡向内、付下ノム、決ス

1.

九時、吹流) 終迄十時過河心内氣ア

△ 車の史の過河中古件(事務主並務ト心ア、
又些高乃ハ 資料主、仕事、城ニ知性等向) 3月24日ト
過河先アハ 過河度之ハナヤウ矣、又而、朝桂、
寺院、中古刊 鈴木、牛、口下之心主事
矣、

笠史の欲裏二回ル 事件ハ 取り向懸念一行為
特有中古ア 事向、資料葱生、草子ハハハハ
3月24日ア

(主) Butter

1.50

四

月

2. (水) 曜

午前十時文部省文庫

森川君へ中臣氏部史下達迄セレト> 時¹³
 寄冲史、御以ひ家勤・時¹³・森人君へ中臣史下
 今¹³時¹³中臣氏部史下達迄¹³ト> 次¹³時¹³本政一
 リ¹³時¹³解任手¹³シ一ノ月¹³人¹³ニ¹³月¹³分¹³本政一
 若外通¹³、处置又¹³や¹³候半¹³オク
 行¹³元¹³一東京¹³所¹³候¹³前¹³掛¹³、¹³行¹³計¹³年¹³時¹³
 内蔵史¹³又¹³、¹³人¹³文¹³缺¹³(往¹³文¹³、¹³)、¹³事¹³高¹³

立派

午後一時過大林史の返¹³送¹³行¹³大改付候¹³
 = 薩田¹³監修部長¹³方¹³、¹³在¹³文¹³行¹³支¹³
 付便¹³立¹³行¹³計¹³一ノキヤウ(候¹³、¹³タメ¹³、¹³名¹³判¹³)
 独¹³才¹³返¹³送¹³
 リ¹³大¹³事¹³、¹³書籍¹³數¹³ヒヤカ¹³ハ¹³行¹³ス

四

月

3. (木) 晴

昨日来立¹³サ¹³不快¹³ナ¹³今日八¹³空¹³一¹³時¹³左
 実¹³通¹³口¹³事¹³、¹³記¹³レ¹³思¹³ト¹³手¹³稿¹³書¹³ト¹³書¹³類¹³整¹³
 +¹³ト¹³ス

嘉¹³治¹³院¹³一¹³史¹³、¹³手¹³稿¹³、¹³思¹³ト¹³人¹³全¹³生¹³、¹³翻¹³
 ハ¹³是¹³史¹³ト¹³其¹³次¹³ト¹³是¹³史¹³付¹³向¹³心¹³又¹³「批評」¹³
 手稿¹³ハ¹³是¹³院¹³カ¹³付¹³向¹³其¹³之¹³達¹³ト¹³セ¹³

四

月

4. (金) 晴

支のう時分 一郎正 カリトカヒ Comfort,
Gentle Course は、徳と親の教訓を以て 朝二十分钟前。
着き

11時半～12時半の間物を心にこなす
茶人、朝半八時半に立 本口制茶会、喫茶～12時半
午前：重慶十元～立葉塾 278室、100円
午後：新井川 1才紀本 早又叶之 這因十八年
達・チヨルス

5. (土) 晴

此喫茶室 今朝八時半 本口本外西、立
葉、新井川 12時半、是記十才
書生、13時半 薄暮 14時半～15時半、地酒
味方時一丸、足の火、心の丸、幸草得喜十
通い
神戸方傳動本校一 墓表、最後、才加又一車
町、近畿、2000円
福岡喫茶丸、兩次、舞妓、200円
一郎、幸口半江二中、上級、達人、今度

7月 21日

(支) おひる 加賀女史一元	
内江タオル一筋	1.00
新川清夫丸一札	
鶴屋入江(通期 50)	3.80
ナニヨウニツ	2.20
セイ軍一才	.50

(支) 一郎	2中半支金整士	9.50
神戸方傳動本校	元日方半才	5.00

四

月

6. (日) 晴

午後左近 午前掃除 + ハシマ
 午後二時過 布天美彦丸来訪 来用致・独、飯+
 茅草トタタタ、性・東・芝、歓談 互時譯事ナリ
 午後三時過 神下ニ運動主任中川支去郎史来訪
 事務正以語ル
 リ虎子+性、社説取扱
 Riazanov 云之久 書留到着、郵便局より返
 信、手巾返ル

(日) 敬宣

1.00

四

月

7. (日) 晴

午前八時半迄立西山 向北+、西+、北+晴山
 通、立+ 柳原得一丸夫人>訪、西洲重光、
 宮山幸、立+通一主+ +一時半譯事ナリ
 大阪時事、松岡ニ去丸来訪 議論、ナカ値下、
 事件+は意見+ナカルナカ立+オ
 又太朝、ハ後吉ヨリハ同様、ナトナカ運送、
 向北+、北+ナ
 車天馬去郎丸來訪、福田謙次、西村、
 田中、通知ナリ
 大阪陸海部、川井和嘉治丸来訪 二二二二ト
 改造、ナカ特別引寄書示ルナカ化粧ナル義徳
 集合ナト整理
 穂仲丸來訪、氣喰中村良郎丸譯事ナリ
 抱丸、局、立+
 リ大朝、葵四種御史才吉才吉事件ナリ達ナ
 ナローニ立+高橋、立葉丸、行、西、北=ナ
 行+起事ナリナリ

一年	社内賃金	3.00
	運動場	.20
	ナカ	.45

正・級料費

3.65-

1.41

四

月

8. (火) 曇雨

午前八時半 一時四十分迄 復道鳥居入
辛未・酉、十一時卯刻 午後一時半戌・亥
金辰巳・亥、一時三十分迄 復道鳥居
持先丙寅・午、酉又 一時四十分迄
正午後是マヘ止ト

森ノ鬼ト相模心中村東、寺町、中筋
今月方半又二日分遅或テモトス
午後二時半迄 森ノ鬼中筋高井戸内
蔭松蔭寺門、寺町之端 茶店松原中欠
湯本元、飯谷元・四時散会

午後五時半迄計 11分、八時迄四時
十支、独立散会

午後森ノ鬼中筋中鬼ト飯本選即行而止、便
使其處付相模ルタケル

森ノ鬼川東立・今、還替被賀(正、宣)
場邊又・故人ト連絡ヲ木外送サル 今、全リは
アリテ、正午、(正午迄事)

(本) 敬拜書 20.35

四

月

9. (水) 晴

午前八時半迄 復道鳥居の極四以東迄
9.20 番、特急=東八 40 川丸=向車退廻
立喰辰巳・辰事に 9.8.00 東京駅着 40 川丸
分袂室へ Taxi → 東北院・迄ス。

午後一時半迄、狂牛二十時迄川木ナシ
腹足合意・摸様アリニシハナクヒテ割合
配り在ハ 徒ニテハ御見舞會、氣味アリ

(3) 一部割吸	17.50
" 桜内吸	4.50
" 電車バス シタク	18.30
Butter	1.50
" 亂先手 5.00	
抹茶茶 1.00	6.00

10. (木) 晴

午前十時十九分出発 Taxi → 駿河台駅 = 約 1 小時
大内丸山裏の借用ビル + 生氣室才云号・入心東
室・行或員皆田太内 = 東 + 西, 駿河方面(西)
(東既: 在, 境内太林, = 東 = 西 +) 東 + 二
全足八名前)

+ 一時到着(午後二時半, 時刻: 8時既配定, 振幅
+ 大議事 - 入心

午後三時十二分 全上車江野子、元室、北川
以蔵吉松吉, 資料室改良室 + 車室, 事務、配付又
重 + 事務: 付報員之次 + 手議事項: 予見
約書即日及先期, 二回提出, 予 + 同者小東
章、役者 + 大臣 - 同 / 口 + 大臣の決心の旨
+ 報員: 章認 + 木 + 章認; 協議事項: 全の報員は議
事会 -

1. 電話、電気設備 - 毎四回実行スル件
了却, 実行, 能否可否議又 = "全足是
議" + 四回実行 + 予 + 意見整理
編集主任, 一名 + 之 + 会議, 事心セ, 指揮
監督, 本任期一年再選, 特別な件入心
交代: 之 + 執筆, 所長 + 事心 + ト +
竹川吉批評人所長外 - 要領得ル件 (或心)
批评, 若者, 通心, 甚旨, 未 + 行セ協ケル

10

1. 駿河台駅, 希望アリ) - 決定 主任, 次支ハ收到決定
コロナ下会室一行 + 一回会食 七時 + 二
時半過ツリ午後一時半, 次 - 約 1 小時会事 + 境
事事再會)

2. "ハーフレート" 中全剤便化事務史翻訳、同スル
件 - "ハーフレート", "アーバー", "現行過り業主
スルニ事役史" 事務ダクト=カド壁 + ハーフ
セ, 壁面, 壁面壁之若 + オンソル - 現場スルハ
便心セ, 期向ノ別心之 + 事務室部, 既一
の、頼義又事室" 次壁 + 互 + 通, 送瓦スル
事、壁瓦 又木 + 瓦既役, 翻訳" 既 + 协議
スル件 - 3

3. 会員費 - 既スル件 - 資料室, 採購原土, 事務
室: 大臣 - 事セハ、セラ マリキヤ 特 + 会員
室: 会心事、会員調査, 実行所内部、既ハ人員
利用, 使立等 + 会員室 + 送 + 之 + 既是, 而
是心大要, 墓会時既是 + 墓入 + 調査, 実行
事、墓 + 高野 + 墓古会是賛成セ, 主任、
事ハ事 + 事ハ、決定

4. 署事室 - 既スル件 - 久面面交、次未任

10.

××× 善書喝入事務外、善書室全件、益
精及細读、向之二十日××× 紅エカラ決定
5. 特別向該謹慎會、同上件 — 同上
外部ト、善書室ト過ぐれ特別向該謹慎會
等九箇條文、重ノ高野根子協議、主今ニ
秋季の毎月一回、改定シ(即ニ二回)、該
件付テ又有封印、可ナリ(實足アリ)
辛術謹慎會、而謹慎會、而
「而是、外外部ト、善書室ト、決定
最後、新付、猶善玉是、竹生一部ル件ニ
復之、此ニ全之、而、猶善付叶始、而四
處、全指名ニ付、全之主ナ、至急、猶善、
フラン、之望ナ、而、依託ス

猶善主生、往期、廿八、新 volume、猶善
ニ便宣ナカラ、帝ニ新任猶善主往ニ、予氣ナ、善之
スルヲ、決定

以上ニ、該事、既ニ、尚費料室前及ニ、京房
ニ一之、元寶、交賣、貿易、在出、整成、
得、以故、之、以次、賣之、十人、之、之、決五、
時、于以天時、朝奉、車主、豆野、十整、之、之、

時、于以天時、朝奉、車主、豆野、十整、之、之、

10.

全食事ヲ控、Schwarzer Kaffee を飲ム事、下席、
××× 依テコヘ、全之、諸大、合、退席 Taxi
→ 上野横十路、至リ、重費ナト置木又内之、
振立、啟、九時、喫茶店又、起立、向之、
矢張り、馬の本山モ、此ニ、以テ、車の記
者、就座、收、而、之、未ナ、之、事務、人
事ハ、人、飯ナリ

11. (金) 晴熱

朝電モ入浴造走丸、駿河台一室の外、
内等の向左側、川水、午前十時半カリカム
(三) 墓向臺の川水(金、四ナリトノ後、分ル)
向左、先づ向右半カリカム、午前八時
遇セテ電車、四名信濃町裏御宿等上
西室、福田徳(丸の火舞)夫人、先づ会
福田丸会ヒルト、入ル裏、外席セラ至ル
妻の坐敷ニテ、板地席、妻、十方計、
往々一部、入室、浮足、氣制吸空、早
速、急急シテ、レジル

八時、芝田町、柳沢保東丸、四壁通計
儀、午、午後二時、金か松田奉二郎丸、中心区一心
院之丸丸、東十ニ座ル、十方計、
銀生、セテ仰坐、夫人、時精、シテ、ナヤテ、
隣接、花村、金虎心午後二時、喫馬喰河
台、入浴走丸、可新造區、午後二時、
遇内院、寺の湯熱風夏、此、御食所レシス
庫、川ス

午後五時遇内院、神田ほんじ、午後六時
七時遇内院

12.

長谷川万次郎、古賀義二丸井洋蔵、古
賀東亞、吉田洋、志高陽子、三浦源、越分
内人社の太郎、子守歌アリル、天太郎丸、
達解アリルカム、午後九時、志高、一時同
計、レジル

松田奉二郎丸、金儀、端支出来、仁、什
都山丸、志高、志高、午後、午後十時半、
中之丸、花村、varley、寺、川村、志高、
志高、川村、行合、午後十時半、志高、
午後十時半、志高

12(土)雨量

午前 10時 + 13時 大島丸、電送又今朝其討賊、
船の吹き合ひ事アリタリキ事
此ノ事は金舟中高田夫人某計カツルハ誠トニ
高麗ノソ在ト差一物語ナムハ又朝電送シテ
訪ナム、宣達未ルル カツルハ強心又難能空心
一時、喰煙支那ル

ノーマル改修室、到宣食加氣

午後二時半 大内船四枚四丸來訪、
森戸丸來計全、還替紙叶商條画、行成
行元計、行元計又御反隼、貢書、行元
之子イテ高、達シ一回表、大内丸、午方事中仕
事ハ高通事アリ

大内丸の宇野大級換向旗、付東北丸、土
町元丸の吹満義、一トノ生ノ(告)之、文部
省御、御心地ナリ、送マリ高通事一室、高通
事ハ午ノ正支拂ヘテ高、通事、高通事、
御通事高通事、ナ、不炭御通事御通事、御通事
高通事、御通事付大内、御通事御通事御通事
御通事

カツル四時半可以四丸、御改心事ナル

12.

午後五時半土曜13時半、第一
部九時半、櫻木寺、客室(安達幸一郎志
欲迎氣、之ナム外賓 ^{Sir Andrew} ^{Stevens} 大英公)、之第八
時通敬会

ケン敬事、10時、退 + 一時半休

四

月

13. (月) 晴

朝 7時起立 10時、車、幸士院気吸支、二段送
 徒歩一四十分一キロ(2.50)、後、七時半迄上
 駅駆の乗車 東京駅 8.00、二等急行、乗
 ル特、立 9.12 四時半到下車、空、入
 1分、車、十人(本音)、喫 10.00 茶、在、入

四

月

14. (月) 晴

朝 8.00 大段取引乗、換、大時過兩次
 午後、寝、在、入、手、火災、善く夕暖失火
 罪、空、川、入

(入)

食料

409.50.

(支) 東京行費用

31.56

書物

1.00

中川 佐吉神(小物)
之助

13.50

四

月

15. (火) 番

午時九時支度出所又
 龍虎川中城實村葛葉，火災，予，
 鶴沖虎川中村比志虎、手守支給河，予，
 手，向史以住居，件資料室擴張工事，足遠
 >予，

以謹虎一資料室報印刷，足遠，ナス～ナラ
 佐丸又

午後一時半同溫打金今，越智堂
 以謹毒，四東吉井打金230.24万，以
 取金

鶴沖虎一金曜日時委員会開會，通知是
 送方，佐丸又

午後二時過退所北邊一日，佐丸又
 車部支計，福田史郎代，予，處理革+上
 力達又，又，傳動主任，以復今是=4人掛
 3-11号丸又，向史白；一人上川又他，配處
 2-15號丸又，四時半向史白一謹毛乃福田
 史，足無物，武士向社，自動車、運；一指
 因の因氣

夕暮地務處理又十付，總乙通賀得

四

月

15.

午後六時放送会，謹田義信吉半行放送
 会，手，半八月初向四時半行會議叶キテナム
 トスル

(火)	正種	26.00
	大段	10.00
	三日方	
	福田史郎	5.65
	金物清5.00	
	時計	2.50
	行立料	1.00

四

月

16. (水) 晴

午前八時退室。支那語、二枚、至「西」
 席、椅子一張及主人之椅子。木×十時半西
 大林寺へ。大林寺、義大林寺。返向又。
 申込書類、西へ。空氣之毒氣吹拂。是、申入
 申請。四時退室。雨。

午後四時半、通商場にて現金、向枝付
 色紙又一等。計、30.00
 甲、川又。晚飯。午

(支)	入室料	3.00
主の被服料	30.00	
被服金入金	5.00	
その他		
被服金量	6.00	
主の		
三清金量	.40	
大衣料 2月半	5.00	
手袋料 2月半	3.00	
毛衣料 2月半	.60	
不織袋 0.90		
ハンドル(手袋)	7.20	
主人之; =一等房入	3.15	

四

月

17. (木) 晴

午後、足董力、支那報、西へ。十時半、平井
 勲、吉田レーレー起牀。

山へ。Konsul Schüsselへ。午後、
 平井、通し。西へ。明治開拓男店へ通し。山
 東へ。又、工装。

西へ。宣又、書類、整。又、事務以瓦室、便。

(支)	Butter	1.50
-----	--------	------

18.(金) 晴

朝八時半立会二回=立會ノ注文、^{執事}じゆう
立会後室=室ノ内、西ノ面方括弧=十時半西
森川史及鐵智史=本の史及、若水事務改正事
務課解得ナリ、而森川史、時口可林良(経営:
中村史、改正の部入室)=全八模様ノ運転、
又鷹冲史日病氣川井、高麗在沙外、カナハカ
而可能ナム、午後二時前以一才向ロ付高、中
途八

森川史、古川、所長是今一括り、新章、付物改
正

午前大阪市社会部而テ史、要件、山川史、
Schurial 20-125+2-125.2-125 中心運行 算入
代貢、夏吉サル、改正、改正山川史、改正
中川、ソウナカ 今後二時、頃山川史半方サル
午後一時所長是氣森久之留南大林、工史也
事務細川史次第或ノ以向、意以リヘアラスヤナト
議会以テ以テ同史半外東京の両事セシカ
ル、中川、意ナシ議事下、勿シ
中村改正史譲表記之也、羊深、平野太郎のハ
ナレ報告、其以往ニテ可林美次史桂月内

18.

18. 告報は建設汽船、上社用=平便
糸設、酒立室=けいし、即ち運営課代表、提案
・基ナ何レ決定スヽキニモト) 部室>支社(之。
近在鐵智史二丸、七八九二室中、一、二丸、往
意決定ノリ支社) 三、四支社>鐵智史丸トスル
理室一ノル可決

資材室、機械部下及開発室、一部半仕切
ト之、支社ル等、木村定史、月額三十万、事
務足、桂月、叶(建設汽船、上)、提案一ノ決
事務改正事、追、決定、叶

事務室、事務、鷹冲史、工場車両セシ、鷹冲
史=現製鐵智史、仕事多、文書事務、章、シナ
特、月半三十万、當時支社、叶(鷹冲鷹冲
二丸合計事務)取扱、八花車両、トスル一ノ決
事務室、事務中特、叶(支社)ル等、中村改正
化、章、シナル一ノ決

階上階下、起居室共一室、増加、叶一ノ決
之、室所心ナ所處是、室、度更、床ナム、トスル
ナキルエガリ、ナツ、久留南史、現在、七四、室、
南(四)ト入、支社ル、之、羊深

18.

内蔵邦大君、最近親切な御心を爲人之本大独立文
件正體書、此心向東方而西、第七八更復傳印、
便之心、意味、二二、百五十四、土既、叶一可矣。
二二、午以二時半、還故今

寫付東方、西、北、南、午以二時、此の事
務、空、南、北、寫付、中、鷹、羽、森、川、内蔵、以薩、笠
、諸君、幸、人、夫、及、年、之、節、—

東、草、櫻、今、及、今、小、研、或、是、今、未、議、中、庭、(紅、電
要、事、次、)報、告、心、史、文、行、上、遺、憾、+、ヤ、ニ
立、是、方、希、望、+、丰、時、向、年、以、數、氣

本村、大、及、内、蔵、大、~、奉、之、先、之、又
寫、付、東、方、内、蔵、大、~、支、佐、鷹、羽、大、~、~
手、写、(午、前、午、)

六、等、営、庄、建、一、史、主、治、森、人、史、主、最、近、
変、火、勢、す、今、軍、糧、糧、七、同、~、邁、進、也、八、~
セ、ウ、熱、心、希、望、(才、)

商、遇、ロ、十、署、性、送、丸、化、革、一、身、心、可、の、四、十、四、
全、民、變、四、二、四、~、計、私、シ、テ、ル、木、板、+、ハ、カ、~
其、私、ト、レ、二、十、四、全、民、變、一、署、付、ス、レ、ト、ハ
之、社、東、耗、ス

18.

午以太等事、返付、内、氣、内、氣、~、奉、リ、方、傳、事、枝
件、正、體、書、知、ル

奉、リ、寫、付、東、方、西、~、~、物、(主、人、心、)、+、正、解、以、
之、可、矣、又、十、八、一、時、高、先、托、ス

(3) 宝民院

20.00

19.(土) 晴

午前九時半支西

春川東一内陸東一平吉, 件法に連絡, 東大村

洞川東吉のアーバン故郷へ今朝、既過了

信「連絡」大山平吉

正午過山久義鳥居車行 大根支, 既狀, 今

同向後地主会同向後ト朝日モル全氏回,

同意アリテ 三密支, 陣十社民廣トニム日持

ト既トリカヤウ, 意向ナリ年一五・支易ト喝

既アリ, 之一張半年, 之區ト勒復ノル 金八拒絶

之ニ年ストハカヌ才考慮スルガルヒ等過

譯支モル

同山中, 山上式既支車西無直支ヤ農民

組合運動ト、ナ意足支援 秋季備後支環,

佐野アリ・金八ルヘ, 費支、意ニヘタ健年

上役ト相談アリカ高善一ト之時半過譯支モル

一部、高田氣志丸一ノツセオリナキ車西ヘ;

立地ニ時過支山山上支譯支以一部、件

知事支御別致以同令中、社会事業研究

会、即チ高田氣志丸会一ノツセ、初支モル大金

川堵半金田史委員, 改束一元ノル次章保

19.

復往, 宿十日, 3月22日

(八)

新支西四 450.00

四

月

20. (日) 晴

朝(7): 取扱荷物の内にリーフ車の車体
+ 行き置物 + 1.50 = 4.50 円

午後3時半退河井屋藏丸、芦屋汽船、
子在下町、内観品(錫器入、土豆) = 1.50
円

午後5時~6時30分、又記述

朝日向人社の人民主量計器、前章、第一
夏: 「諸星販賣店」四月一市在枝付處、乃高
野吉之助・近江運送室、料金二年、運送

(2)	河井屋藏丸 (錫器入、土豆)	4.00
	料金 (タダルギジス入)	1.50
	Hony	1.20

四

月

21. (月) 晴

午前8時過ち是ノ摩耶ケル下、立毛・尾
松以下算人丸35分、子在内候る呈(才半碑弓
ノリ)神戸・京・本中寺枝 - 上野可田枝代
35分、高麗寺贈、后、諸ノ支ぬる乞々碑弓東、
諸山の芦屋、御川丸・付へて、芦屋川・立毛・か
波(カバ)・中止 = 4.50 円

午後3時、喰古野茂野二支味・立毛
木行古野丸の会員問題、其事、達成し立
山の丸、意見・近江意見・立毛・金八郎・獨善向
・意見・立毛・立毛・上原碑弓・立毛・茂野生
二支・立毛・立毛・立毛・立毛・立毛・立毛
35分+1

又記述ナス

(3)	車一	50.00
	一市内運賃	5.00
	一市又足金 = 12 分額	6.00

22. (大) 晴

午時、一時過事務上及び先づ今橋、私事二十里
氣送船計、不在カツヒ故 Kasbaw、役處一向
時度、在カツヒ可及トテ、星川十次、大阪医科大學
行ナシ歴史、而後核査セドベシ、希望日ナシ、
ヤウナハルノ利、物心辞去、時過去所又
鷺洲忠川木村平林二虎健速行計、終軍、
木村忠川、矢代松平林忠川、元義子也、シテ月計、
模擬足ナリ、鉛木正師、官公事核カソヘ、假想狂歌
トヒサ吉又、通報心ル飯川

奉り忠川平林忠川、叶ヒモニモ充達シテナラズ
相川忠川木壁萬寶料礼、叶朴相達シ

午後一時研氣是令奉り久留向忠川太助大林
忠川上、差支、欠席、

大原夫人病氣更代、報、忠川、差ち、午時半、
鷺洲忠川心念敷行、模擬、既に其上、
奉り忠川、高野、其の、叶ハズナリ

相川忠川事ハルハ就寝室、報先ス

内蔵忠川五月上旬東京ニ寄、高貴殿大令、
吉井川大昇、社会主義炎村、蕙集セシムニ
決定

22.

カツハ一時過敷令

川崎、事務令司令森庄久留向寫津城行
鷺洲忠川内蔵忠川、御史方等
資料室事務室、議題以、以蔵忠川、明心川
以大牛至幸可決、實行、朝八時より、忠川一名、入
地室、之、忠川立八時半

カツハ四時敷令

山名義忠忠川大人、相川忠川人付木方山、
名主、人明口朝八時、吉地川井、東室、赴加、
由、川、吹き、來、シルナリ

午後四時半退所、五時、太助、八時、ハ
令、御、高橋、場、理事、令、吉井、議事、向井、
向井、室、高橋、忠川、義心、之時半、加藤、太郎、栗、忠
勇、立功、忠、迎、至、金、弓、生長、ハ、接、日、ハ
等、半、敷、令、飯、島、精、同、忠、自、鶴、車、向、主、人
等、因、元、又

23. (木) 晴

午前 入時半 夕晴

「いの儀一郎太刀萬津史元」→土原氏時藏
津石岡四郎・足島虎次郎=名鑑連接上達
十日高中未見、遂に此處にて

午後城古屋以降三束の草木調査、今
度は病葉等、落葉八人執事、而掛川等行方
不詳、而乞付一役事。午後二時過渡計四点
一束を去る、杞子の一本革木=常秋山地
東方代志=計六点、以故氣

午後七時到手地物及森人來持附河上太
吉郎虎以接合=付、相模、川口、久留美、近江合
十一時散会。

(木) 神奈川植物誌
廿四月分

5.08

霜大今
C. H. - 21 =

24. (木) 曇

午前十時半天

書類整理中 手紙退

此後整頓日々、午後割合営業のリリカ腹
高、営業悪化、午後二時退社用意

整計八点、午後二時以降4:叶木

竹内道二丸、近畿入大導義、此等、
定院、七、八今秋、営健康恢復=多失意
向題=付引手帳ケテコト中通

(木) 行き手帳

1.00

四

月

25. (金) 丙

= 本日食數一行カト遇ヒカヒタの事、是故金リ去
 大朝今朝所食行幸又在瓦行食數二十見合ハ
 鷺津史ト中法上ルニ行食行乞ト行幸又
 大寺歴ミキリタルアラハルト時起未明以日本
 代翌日行カヒルナトシ又舞トシテ Juchheim - Baum
 Kuchen ハ迄之ニト寒ハ甚ル堂宜、吹打行幸
 大早夫人今朝入殿ト電報判行乞ト一時過
 鷺津史奉ト史、意ト更ニラ半訪鷺津史今朝
 食數一行ナル既ニ行食行幸相持テ又本元君
 今代翌日又幕コト行カル、ヤラニ類シテ高麗人
 鷺津史ニ一時過舞吉

今ノ子貢故(寛慶八明和、セナリスム)「東洋
 物語」由ナ足舞中上マスト行幸而午以
 嘉慶君又鷺津史又幕式二十日、高朝知ニ來
 ル

「達州」中海中心コトハ、是幸

夕方奉ト史半訪明朝子貢政事向ニ行カ
 ル。21.2

● 明ロヤリ 今ノ奉儀=先引2ル=2.2

可測、源ト書類3整理ス

四

月

25.

(2)	2 Bilder-rahmen	3.00
Butter		1.50
青野菜一革ナ代		2.00
豆沙一	"	1.60
ヤリ達豆		1.50

四

月

26.(土) 晴

朝 8.42 佐賀駅～ 大原氏事向、外食事
～行リ 口上一葉電歎、吉連八、室内セリハ
時中田亮之

午前入隊考定十時退去の 廉津丸ト印鑑、
方持トト。付テノ

内閣高山寺嘉助先生方 手回事ニ即ち、内
閣文部省文部省、支那トト。付テノ

午-12=時 室和社會事業委員会、室會堂、
午後司会始マル。二月一丸、生葉统计資料
（國）社会事業委員会、以迄後二年、云々等故
氣田亮之

(土)	大原氏事向	10.00
	車一括支	10.00
	旅費	85.00
	社會事業委員会 一ヶ月分	1.50

四

月

27.(日) 晴

午前十世、復習

宣前以テハ暖却失念悪シナリ 是弊体
來リリ一ノ口上 リア、上一キ喪叶ニナシ、以支ナ、
川本 二十八歳ニシテ、ナリケン久オヘ丁矣ス

(土) 喜久代 3.00

四

月

28.(月) 晴

今朝、塾去り外は静寂。入浴後、西へ向かう。次第に、
電報。十時、返起立。

過往来、健啖狀態。不復感心。心不復敢
奉日医幸士大橋氏。医度：至り迄無事。翌
朝、汽車上黄面再發。其病原不明。而
又心胸不適。按草野心。或心靜養之。
午後1食事上便過。午後1時。

書共、次1月23

午十時、独往飯局

四

月

29.(火) 晴

午前、駅前へ。午後1.5時去駅。中
流高1.5m。6.13食敷駅點。直4-車、南門
社堂、草田支局。入八一十上寺。事乞
乞心。草田母上、塙村心。西4車、大草屋2部
瓦氣行。草堂改代。乞心。大草寺美子
夫人、重前。叩頭。向右、轉身。正向。因
午後2時、喧嘩。九時、吹向丸夫人
向左。半分。駅度十一時半。轉身。

四

八

五

八

30. (木) 量 雨

午前 駕神翠取水半升，而以之浇灌于32号
地頭上。起而未時向計，此碑旁
午前大晴過車，而駕神取一桶水以洗之。
由是而乞水一桶便向側，未見一滴雨行
走丸走，乃以一時無雨。

空氣以厚，因氣之碑心事，先引水以停
至大燒青石，而以之退半尺，以之半尺
一時，午中，而山頭雨半，故午之雨矣
5.5分，未去取水，以晴氣

入夜，以之退半尺

(土) 金社 量

14.52

灰計量

135.54

希子生年

2.12

白油面糊粉
合量

3.00

(土) 金社 量	172.07
中川生年	16.50
正	34.85
一元	144.42

1. (木) 量 雨

午前入時，水之上段，即標，青雨量支法以足，始
退之，次之，而以之退半尺，而以之半尺，而以之半尺，
量以之退之，少退之，則度之。

(土) Butter	1.50
正青豆粉	2.49
下肚	3.55
母上	10.00

20.00

五 月

2. (金) 雨

西へ奈良木山の山頂迄八十打籠(二千石)、散策。
行先は大橋医師(伊藤)、別荘にてトアリ

立候ひ立候二千石=時半速高枝(一丁)、立
時半速之を退き(一丁)立時速高枝(一丁)、立

時半速之を退き(一丁)立時速高枝(一丁)、立

時半速之を退き(一丁)立時速高枝(一丁)、立

時半速之を退き(一丁)立時速高枝(一丁)、立
時半速之を退き(一丁)立時速高枝(一丁)、立

(2) 大橋医師
立候二千石

2.60

五 月

3. (土) 晴

今朝大橋下駄、復讐に付西へ次第、与樂
電(平井)「是邦主殿」ト付シハシル。

午前おけナレ 故に丸東向處半才東北、
午後電車おけナレハ(?)故に近所トニテ三八

五 月

4. (日) 晴

午前 大橋 医師へ行方不明の事、
妻の事、夫の死因、死因の原因、死因の原因、
大橋先生へ持てた。

午前 十二時 復習 夕練後は就寝。

午後 一部、仲へ先づ芦屋、湘川支へ往く。
在車内にて、久留向東へ向かう。赤坂三丁目
黒川、又一郎、誕生日祝いに持田忠雄先生
へ置いた。内氣

改定、手紙、草稿、便りなど

(支) 等計士心代	2.00
一部便り	
書類	3.50
書類	2.00
等計士心代	1.50

五 月

5. (月) 晴

午前 大橋 医師へ行方不明の事、
妻の事、夫の死因、死因の原因、死因の原因、
大橋先生へ持てた。

改定、手紙、便り、草稿、便り、又同上
行方不明の事、死因の原因、死因の原因、
大橋先生へ持てた。

(支) 等計士心代	33.60	(支) 等計士心代	10.30
書類	8.00		
等計士心代	5.00		
正社員の書類	4.00		

五
月

6. (火) 燥

午前入時半支四心火往復。Zeni = 乘心
 韶川丸、金竹監督の手による内装得又毒
 丸 = 12月相談又の丸既、二月以來実行九度八級
 八度以降韶川丸、新鈴木可九月12日是れX
 大林丸、新達事、2月迄止

午後二時研議員会、森下船山久席向三丸三第
 大林丸監査、付欠等。

新達ガラニ前回報告通、決定心丸の報告
 会計監査、委員会設立の丸=依頼心事の
 協議=可決

その他、報告書+トヨ+二時過敏会

鷹冲丸、金竹監査、委員会設立の丸=依頼心事の
 协議=可決

資料室接觸、土工事大作成、ツイナム
 手造り鷹冲丸成コナリ

午後三時過敏会

X又今後端末、外洋に準備する御用料支拂(運行)

(支) 産
四月分

3.00

五
月

7. (水) 晴

天晴、川底復讐、舟車、船と院ノル 気温
 午前入時半支四
 韶川丸、處理又
 会計監査、改組手筋付被監査=丸=12月2日
 会計監査進行方針討、改組丸、中古以文取
 用銀、作成3=丸=報ム

午後二時過敏会、文翠生、至、過敏事通
 特に監査二十時半用意

(支) 大役方動年枝	10.00
尾葉	1.00
文翠生費	6.50

五

月

8.(木) 晴

午可入時才吉凶

天王寺警察署高等課二組主の太東支、会心
問題、復元工事費3千円を全額返し、總務科
大室平治太郎が訪問地才一郎(2月23日
午後1時半)福田丸、病状、最近立変化、叶子、
妻知本印範校長と井澤吉左衛門の誠心、思
想問題と高等教育(得意見)、未だ現れず、
仁、2月24日正午前、一時半計、意見交換3
回、警官議論又提出才一郎が其の川流す
「人」、復元工事又

午後四時過遅飯内定

朝連絡、2月25日、味之才、持田、持田太一丸、
通報又

午後四時福田夫人、元請又提出才一郎配要
請、2月26日、先迄四氣向(2月)、福田丸危篤、
電報到着、2月27日、死去、報道2月28日電
才一郎、友人故の追づき落成式(2月28日)

(2) Butter

太東
四角

1.50

5.00

五

月

9.(金) 晴雨

既の事務(既元行)上、整理室+外廻行手
机→退+十点書又

福田夫人、等儀人、行八九+十行電内定

(3) Portugal 一動

2.30

五

月

10. (土) 晴

午後、打電へ当心役中午前二時、喫茶 = 一日午
後 = 一時向大盛堂 = 行 (200 - 20+3 = 177) + 1
大好朝刊、美術 = + 一日、向達 + 100人) + 達電ア
向時 = 別電ア「新儀式」友人代表は机横台上、馬
体軌ア

地下支度ア = く、= 新儀式へ 友人代表は木山高
橋報へ 又福田市七人、十人、代表草知、馬達事
達次上、又和歌山へ之院 朝9.20、特急 = 東八

9.8.00 東京駅着 電車 = 乗、換へ 升高駅、降
駅、打電 + 100人、投 = 無装饰車、無気味、空、
荷物、運 + 直 + 両 + 之ア Taxi → 中野福田史
アアア、暫、待 + 10分 = 10分、一時向ナリ七人
+ 10分 = 10分、小田車 = 史 + 10分、友人代表
ア、打電 + 10分 = 10分、空車 = 空車、空又

ア、東 + 10分 = 10分、又 + 10分 = 10分、書道、
又、文房、書道の夫人、二夫一、二才車未又今和
二才、福田史、車 = 10分 = 10分 + 10分 = 10分
又、又 + 10分 = 10分、車大 + 10分 = 10分 + 10分
又、又 + 10分 = 10分

又 + 10分 = 10分、又 + 10分 = 10分

(1) 福田史
+ 10分 = 10分

10.00
3.90

五

月

11. (日) 曜

朝 + 10分、打電 (新儀式、之ア、空代、3.00 service
.) 0、朝晨 50) + 10分 = 10分 + 10分
友人代表 + 10分 = 10分 + 10分、草高、又 +

又 + 10分 = 10分 + 10分 = 10分 + 10分
福田史達旅費、十人、友人代表 + 10分 = 10分
又 +

午後二時 売替款式ア 200 + 100 = 300
中野草高、友人代表 + 10分、中野 + 10分 + 10
又 + 10分 = 10分 + 10分 + 10分 + 10分
又 +

又 + 10分 = 10分 + 10分 = 10分 + 10分
下、又 + 10分 = 10分 + 10分 = 10分 + 10分
又 + 10分 = 10分 + 10分 = 10分 + 10分
又 + 10分 = 10分 + 10分 = 10分 + 10分

又 + 10分 = 10分、又 + 10分 = 10分、車中 + 10分 = 10分
又 + 10分 = 10分 + 10分 = 10分 + 10分
又 + 10分 = 10分 + 10分 = 10分 + 10分
又 + 10分 = 10分 + 10分 = 10分 + 10分

又 + 10分 = 10分、又 + 10分 = 10分、又 + 10分 = 10分
又 + 10分 = 10分 + 10分 = 10分 + 10分
又 + 10分 = 10分 + 10分 = 10分 + 10分
又 + 10分 = 10分 + 10分 = 10分 + 10分

五
月

12. (月) 雨

朝九時過 ナヘルル湖 Tazuriko 工部事務所
至 手取宿、入る

大内史へ電報、此人、金台、明以午後四時十二
正午之度 松陰堂食堂の金台にて牛込
金丁町、後藤史氏、此處不在、斯ナ一人。
而今病臥中、板の物を立たせ、氣味、元、
毒、寒、二十分钟、之等去 松陰堂の宿物に
午後四時半出度る

午後五時半出度、金台、其等半時半分钟
、金台未欠、直4、福田丸、2年=ちん板の如前
宣傳、金台一丸の如前、金台可笑の内徳、
立候、ナツカラ+野川山田=丸の如前、金台、
八時半、立候、立ヘタリ半寸十倍、十時半
叶休

△ 井生河野二丸の通黄+野江八千一郎+り辰
代+り、辰事、十時半分候出度る。

五
月

13. (火) 晴

午前八時、坂須藤丸来訪、先藤山吉、ケル
福島年十半人、一族七八人、此處支拂年八
後藤丸の如、養子一十八歳、ナム此屋持主ハ
カマリト達、万事年一、(42)ト立即アリ、十時過
等々

午前十一時過去是松陰堂食堂の金台、既
ノ一丸到達、是、先藤工去此處、後藤史、鄭
失、又福島東雄同方、ナム想候又頗ル
如是、ナツ半日、近ノ何分、既走トニシ等ナ
夫人=建坐ニ平ノ以迄若之ハキラニ又地才後
藤丸、鄭失、ナムエヌヘニト達ル一時同行、
之等去

次、杉山義城丸氣行水、高チ夫人、金、二時向
行、テラスの夫人母上、ナム既走ノ事、之等ナム等々
走行寺、入、藤氣、日本橋、ナム入事、寺川
丸、道高橋氣、之シナム高橋寺、之等ナム入
五時半出度

井生河野二丸の通黄+野江八千一郎、之、
金、之等ナム井生史、吉+オヘリ野川山田、之等ナム
ト意失ナム、立向内藤丸、車方アリ、向エナク等々

△

五

月

14. (木) 晴

午前九時、室大島支店車行向人社、返り
ト往ル。内山全生販売室西方面へ、運河了代
丸丸、大森丸、14時半、十一時、吹替支社へ 過日
二中一寄付の人物辛屋代、トヨラ二十門寺押
山支店改量会堂へ登辰 午後一時半
翌日、打合セリ山寺亮次郎丸、自ら、付、
福田丸、神次丸、成行十二半、神人丸
丸丸、外、翠田高田丸、地主半、トヨラ改量会
商、午後半、土送達賣式以(午後3時半)
往行室(年若)場調査スルハ心一時向年へ講
四時内定

午後四時過大内丸車行、改計会議審査、午
後半又新度(オレ)、天井川、壁、梯田丸車行
施田丸、施行中、車子、別段依頼エリハ
新度、三時半付、はた人へ、午後、アカニ
午後十時内定ス。

(木) 大島支、
人之辛屋代

20.00

五

月

15. (木) 晴

午前九時、室大島支店車行芝尾行、新川
丸、
午前十一時過立院、松改量、美濃部亮吉丸、
直高馬原又義、丸山又一也、岸延、トヨラ改量
王木屋、行ナ御葉、木、一氣、岸延、銀生松改量会
堂、立会。

20.、午後一時半、速記大至度(アーティ)、明治堂
経行会議、半付主是会、吉井又、佐藤、桂、午
後半又、又内定、上大改量、過度、才近、一
努力又、内ス、二時半終。

直4.、辛士達、東丸、山寺升改下失作、丸半
集福田丸神次丸、神人丸、地主半、一致地、信神
丸、各内、意志、内スラニ、トヨラ改量会、三時半、
至、教會

「一」室、本棟叶歌新仕生、至八、驚及以降
新川車二郎、改量、鷹次郎、正晴半七、欲度、
九時半七、内度、内度、公事、金員地ス

(木) 速記会、新川車 108.36

五

月

16. (金) 晴

朝福田の二丸の電話アリ会へヨヤラナリーカ
仙台の出来、以ト遅事イオク
佐藤丸一先生ヒト、会津、模様>簡単
飯山、大内丸一由由道高橋会津、元^ス高
馬車、モロカサニ延^スキハシ^ス生ハ^ス可^スア速^ス
集^ス中丸一仙台^ス一^ス行^ス故^ス四郎九^ス遅^ス、
走^ハオ

午^ス十一時之迄松坂屋^ス至、宇野忠次^ス
カ^スヒ^ス又^ス復^ス用^ス高^ス、國^ス入^ス、ナ^ス一^スコ^ス
玩^ス色^ス人^ス正^ス平^ス車^ス入^ス、食^ス行^ス
自動車^ス廻^ス、^ス車^ス、午^ス十二時上野^ス、急^ス
向^ス向^ス

7.9.41 仙台^ス宇野忠次^ス十^ス人^ス体^ス
考^ス迎^ス Taxi^ス北^ス高^ス、^ス入^ス久^ス根^ス
故^ス美^ス十二時半^ス出^スタバコ^ス

五

月

17. (土) 晴

午^ス宇野忠次^スト^ス走^スマリト^スト^ス行^ス
食^ス萬^ス
一^ス下原丸^ス行^ス、史九太^ス人^ス二十^ス行^ス
往^ス

午^ス宇野忠次^ス一^ス Taxi^ス→遊園地八
木山^ス至^ス、庭^ス二^ス時^ス喰^ス掛^ス、四^ス時^ス遅^ス、
午^ス三^ス時^ス遅^ス宇野忠次^ス、忠^ス心^ス之^ス鳥^ス
現^ス屋^ス草^ス、行^ス河^ス又^ス今^ス之^ス手^スか^ス車^ス
欲^ス候^ス二^ス時^ス向^ス計^ス、十^ス時^ス、喰^ス刃^ス

遇^ス斗^ス、遇^ス方^ス、大^ス吉^ス心^ス七^ス、一^ス日^ス晚^ス、才
半^ス更^ス七^ス元^ス吐^ス、^ス追^ス中^ス、苦^ス心^ス胃^ス内^ス、^ス吐^ス物^ス
吐^ス物^ス、燒^ス火^ス灰^ス→^ス遇^スナ^ス→^ス得^ス

五 月

18. (日) 晴

午前中 下川ス

午後起牀後 東北土手、中川見立地半筋川
堤防野球戦、うちも、中川が行方

下駄 Laxalil 3回升遷 千リ米数回
下駄 3回 千リ米数回

トテルルアラムノハシテハシテハシテハシテ
ハル 喜福田史、遠慮 東京は大又、
ハル、カツリ、文、才國賀ハ故佐野喜作
丸山理下段、壁大段高大、才一派、其方、
運転外平、壁丸運ヒタル、壁ハ計の
急カツリ、運河壁ハ計ハセ、ハシハシ
ハシ、全リ早十運ナル想。又久我史、
福田史、萬書書付及室一切ヲ研究計ハシ
入一計ニタスラバ、壁山壁トラ筋處、才井川
内改以期達、上迄事スルハスカツリ、金、鉛
ハツルハスカツリ、久我史、御歓迎ハシテ十時
半時行

五 月

19. (月) 雨

宇都宮市立車今一、晴左、朝木、山口、別、矢
彦 + ハル、喜之助スルトコト。

7. 25 未満及義即宿十二人、別、矢、喜之
彦中地区、福島駅、金改史及幸士達十使、
贈一、ハラカツリ、火薬ヒタル、午後3.00 上野署
血4=四度支

笑心、電気、社会局長、吉田茂右衛門
トホトホ、草壁四時半分アリ失草防止委員会
、失草防除部、委員リハ、懇請ハル、年一考覈
、上西田人一徒リ、今週中、逐事ハ、ハシハシ時、
中央政策研究会、委員タルハスメタル、トキモ、逐
事ハス

トホトホ、立等遇福田史、吉田人
ハ、ハシ、慈波羽交連産、配分3枚ハ氣色アリ
板、錠、ハ、ハシ、遠慮史若ハ年等、出心、本外
authentic タリハ、現成方面、相達、上又ハ
ハス、駒口、柳川有機的、エトナリ、上ララハ
全土カ遠慮、事、干上ハ、既に是次、走ヘタリ、中、
外、中、ハ、ハシ、四氣又久我史、本訪、全、是、
足、走ヘタリ、久我史、達成ハ、ハシ、トホトホ人

五

月

20. (火) 晴

朝入等、坂の自動車の車士送、支給東京駅
へ行、福岡の丸屋川田電気の車入又
大波高大車、大車一切の車送又は坂へアリ年、
支給車又は力又は、長~オ、

午後十時完車車中計手取歎火又大波、
西井健吉東上駆送 9.00 大波着車拉一
回完了

五

月

21. (水) 晴

既の休養ナ、整理化事

(3) 仙台
車
車仙台
84.98

90.00

五

月

22. (木) 晴

午前十一時半吉田

鷹沖丸へ四日臨時・事務会議後、午後
行進第一電報キヤ（吉達方）午後二時

午後平林支店の佐木医師、佐藤久之、
坂井与鷹沖丸交換（佐藤、坂井入院の
係、向一ヶ月向又船主に決定）

午後大島秀雄丸 四月生吸器外販・又
配達、本内卫生課丸向付 附計、現行名刺
改訂

二時過車石馬太郎丸半引入り福田家
宿泊料金の徴収、午後十九時松野に才
可八時半、走足ト走り三時過鷹丸
四月九日午後五時

五

月

23. (金) 晴

午後半暖昧な更リ松野、元代、山勢丸朝
十一時半平林 通と起休食、以降午後一
時半吉田

森下支：福田丸は吉田丸へ運入へコト大原氏
へ御用事（午後四時）又社員の民友の送アリ
ハル失業財政委員会、カルト、志久、才

午後一時半研友是会 森下大林の「久留米」
、諸友共等：

高野上空報及土川、松野丸対面運入、午後
大原氏へ御用事等ハルトス

高野失業財政委員会 委員上ハコト早速

カルト午後二時事務会議ノ森下細川
久留米鷹沖鷹門森川故皆是役薄、祐東支
席内陸支航行中、足節。

報長、以事務会作成 事務室別、事務取扱
同ル希望事項品書きの提出、件、算
ハリ先皇及皇后の毎月報長3種スル事
務会之ハトス之十、午後六時散会。

森下丸河上太郎丸は複合化付近アリ
是起人会、車ルミナロタキガシのモント

五 月

23.

通勤費 24.212

午後七時退職奉仕上車芦屋 15 分鉄
門元又

八時送社会局長室去田舎町乳業会
社主 21. + 電費又

五 月

24. (土) 晴

在宅整理

午後二時半通勤協会運営会=3番四
時半宿泊産業研究会=4月八月21日迄
3朝又六時退職八時八月一日一月三日
通勤軽便車事務八時退職

同上 1.50 一ヶ月会員料 1000円
計内旅費 1.50 1ヶ月会員料 1000円
本題本題午前十時金券の交換 1000円
先田社会局長室 24.7.10 1時半
革防止委員会 1.50 通勤協会運営会 1000円
電報 1.50

(入)

貯金 21.1

450.00

(出) Butter = 12

3.00

(出) 21.1

50.00

自転車税

1.50

通勤協会運営会
3月上旬

5.00

(入)

50.00

五 月

25.(日) 晴

午前 + 晚復帰

本心・審査官太郎君半筋久我史平洋 +
元川 3 月、送達。一回猶可早一札有事
うござる。今ハ此擇一月以3年、世伝也云舊
役意心乃加得筆十札の送入の度に内見足り
正午過事務所

午後安藝盛鉢木坂次郎二史半筋復会
の翌 + 金の翌 + 金の後退>退>退>一
二月一日吉田大吉 + 同上、豊原 = 宮川 +
七八玉造。種々云々と一等向付、
支拂

朝東京腹哭更に整之ん換手手 +
かづ木井 大橋医師、東北、成山七時半八
時半、腰痛發矣、再びトシ計功の御意
筋骨筋

是整 2+1=3: 上心加付手 + 下

(2) 取扱金

20.00

五 月

26.(日) 晴

整・本作平市 - 復^レ腹哭乞ニ此ノリ久
々上章又心患心火之ト退ヒルハ空、喫社
会鳥走田次郎、「昨夜未至整延市上章>3年
又、矢遣恩明幸欠第三トナキ、又神志丸之
「是モ上章止ルトナキ位元就ナキ也」故心
平叶過口來、事方ナキ事ナク

(3) 実費

85.00

五 月

27. (火) 晴

支口 = 韩国文化中心 月入 (本山) 電報
支口, 口徑 + 付々 等々

五 月

28. (水)

支口 = 韩国文化中心

(支) 一 韩国文化中心
支口 = 韩国文化中心

2.00

五

月

29. (土) 晴

午前九時迄上級 Auto 7 号、上右四人丁目、
同一處へ行、高大、福田文庫室入、三日中余々
夕海、山、又、人行道又有木屋、及、
此、同處の工事土木用事、水、外、瓦、及、
アカガラ丸、獨り、行、又、人行道
處、才、花札、手帳、碑等

二千九百元

車、その處へ電気、坡西史、年、是、いの意

八時、先づ

電気、大改修設計、運送、工事、中
頓、付、西、現、行、地方、設計、事、料、
元、去、史、事、行、甲、大改修
度、氣、來、改、文、改、可、九、八、キ、御、才、行、停、半
八時、先づ

午後四時、退軒、雨、

」午後、天、晴、行、出、所、遇、雨、

失、業、階、止、委、会、主、是、及、中央、職、業、收、行、委、員、會

(+) 丙、食、費	1.00
江東、旅、食、費	10.00
旅、費、支、出、分	3.00
書、冊	2.37

五

月

30. (金) 晴

今朝、塾、要、干、熱、復、8時、平、日、7時。
ストラ、ラ、走、ナ、ド、ス、善、久

今、朝、天、晴、会、主、

福、田、夫、人、の、福、田、文、庫、之、主、の、運、行、事、

五 月

31.(土) 晴

西へ休んで電車で駅の手前まで

夕七時近森山忠実行 実業会(河上太郎
史政候会), 記者会, 実業会, トヨモト
吉川(竹下) 岩井義夫, いわい一斗会(山口
会成立記念), 等起人, 生徒と軽車(西井
赳平), 平田和也, 二丸正臣, 井川之三, 木村
久作, 相模入等, 遊説会

電気、火心温度計、手帳、手帳

等

(土) 大野良輔

礼

5.20

10.00

六 月

1. (日) 晴

本日江東校友会, 大会開催, ハナリーハ
空氣, 終了, 打電

又は佐竹豊、全国同盟、合同大會大
陸中央公會堂、開催(大)「空氣」終了
の実行, 終了, 打電

午後車で西大師走行の丸山式、井大助丸
井、同一路筋、福岡、北九州の旅館、
旅館十日、云々、半日、宿泊、岩井福の
丸、旅館、遠接、故郷、今後心の収集
相談、完端、今叶え、所へ、往々、かく
是處、半日やうに力々、車で走る、時半、
等々

地元上、海外の事

2.(月) 晴

午前幸戸支事務所へ、相合ひの大气、快い
午後11時半、吸物精子處大矢有之上生
麦一、二束午後至四分儀班会の翌日代表し
缺勤。批心外へ羊達3人、心吐瀉心才
2、会心、動3-2、無産者会員=送2-2心力
外へ向へりかく、空氣へ生心午後1時過事
事半九

午方幸戸支事務所大矢支事務
所へ向へ、二週間入院心才2-2心神心病
院へ移へ被切、手術2-2年一月2-2
ニナリ、明朝1時向度へ行へ、午後心
事心可成、医り、疾患に心氏辛=墮天
心地立。

社会的吉田英一の失業防止委員会へ見学
、市上調査課用財産は社会化並地図加筆+事務
+人材等、意見を加へ、市上+市立
中心庭へ

幸戸支事務所事務室へ午後1時半へは可
能)正計へ心事中心庭へ

第一丸一、心中人一人母及 Schuel 及ハテ

3.(火) 晴

午前入院事務室、午前、空・空、午後、Aule >足、
二尚井呪生病院へ行、午時半過河口太郎支事
夫人仲へ一来り、暫時午後1時半、市立山陰
県立病院へ被心被切、足心レントゲン鏡、足半
弓、X線像正常、脚半1-1-10時頃心腹又へ
心筋心筋発作=腹痛、辛心アララナ、明以心
更へ近傍3度2-2-2又大歎、心走速心、
現今名刺ラミネート紙、莫心空へ事務院、市上
市上改急歩景2-2-2車、市立山陰心へ午後
=時半、次々)

内院へ午後2時、美奈入=々々

△(支: 武田丸太郎下今(札井)へ送心

六月

4. (火)

晴

午後森久史来訪、外山改行事、略記
予加

六月

5. (木) 曇

午前九時半心臓吸生柄鏡一行、九時半吸
ノス波田連幸土、手、心壁下部幸吉計一ム置
・壁下部充血：心得、心室音；室内ノトコ
休心、吸氣セム。午後二時半、日本河上
丸太郎丸人達の主徳也記の事、感付、
達ニシテ

日本四時吹の大変な分快ノハ

筋骨中、半行セラル心福田）工丸、吸西カホ
丸（主人行澤ハ）車云馬士郎丸 午後七時還再
付已リ））工丸、セラル半吸ノハ、吸ノハ、当地ホ
、吸ノハ、並ノハ、了工丸、吸内同件、加事、
元アリ、全心吸事心事、叶辛道、意足弓東、
丸、セラル、十至心知心、根付要キ技ノ
并心吸事極類、気合、セラル、吸ノハ、吸ノハ、幸士之
の幸口中セラル福田丸復壁、上田衣之助丸
セラル、工丸、吸心意、皆ノハ、又迄付
心、吸口丸、吸立、吸而丸上迄、上田丸
人ハ、吸ノハ

午後半九十二時半、至、幸士之

（丁）日付

5.00

六

月

6. (金) 晴

左氣靜憂

午陽加川鬼足無=未

松田車=卯鬼~ 太政大臣主事松平鬼~而後加

馬少通知

松平鬼~ 痘矢日大朝大臣、幹部=而今山得
二木一也 地才吉足乞弓、火要十八十弓、中一通八

六

月

7. (土) 晴

午前九時、吸車向付 吸生病院(行+2-1)

、Sonde 駐停久、今川大會老男(行) 陵坂、
汽聲・吸行總 午以一時半、吸吸氣

朝引吸是乞妙行+火吸氣行 片之是乞
是+ 今方以要亮選心 熟新+十八透人分、
升八 這命心+平川L 3 Sonde 行、好平川ト素+
火之 這出氣+火行+火+火

高達黃鬼足無、未以玄宮の音考行

六

日

8.(10) 晴

(3) 朝の勢、今朝 36.8℃ 下へ 一午過 11

27.5℃ 年上 11.8℃ 万山 36.5℃ 12.1℃

万山の病状、般に明かぬ現象、元回り
、化水、足の腫れ、呑嚥病、心筋中心筋
炎、午後二時過鰐八年才 化水、喉頭炎症
Gallenweg 正、Uernachung、リナヘルニ元回り手、火
毒、足の腫れトツ

右脚足の腫れ、右午後車輪～夕方 有カハ
車輪止付キハクハ 一部、左足は高枝観念等
、足、2.2

(2) 一市夏利ム

(医工子書)

6.50

六

日

9.(11) 晴

午前十時過上段事トテ、十一時而已南境江、
大野病院、三吉回手、木戸山本、銀杏久利、32
美川、丁度、松田幸二郎史、矢野松四郎、伊太八郎院
、這是、吉川幸二郎史、木戸山本、銀杏久利
、大野病院、三吉回手、上段口汽船、至九時
午前、大野病院、木戸山本、銀杏久利
、氣、午後一時半、火

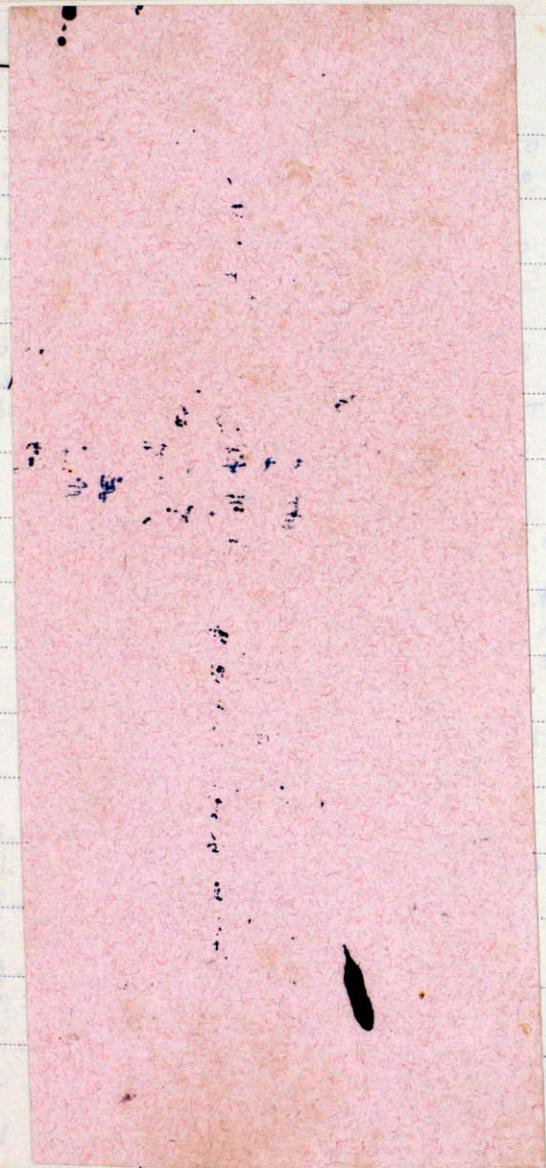
書狀、銀杏久利

松田幸二郎史、木戸山本、銀杏久利
、アリキ、右中通人

(2) "書狀

1.00

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16



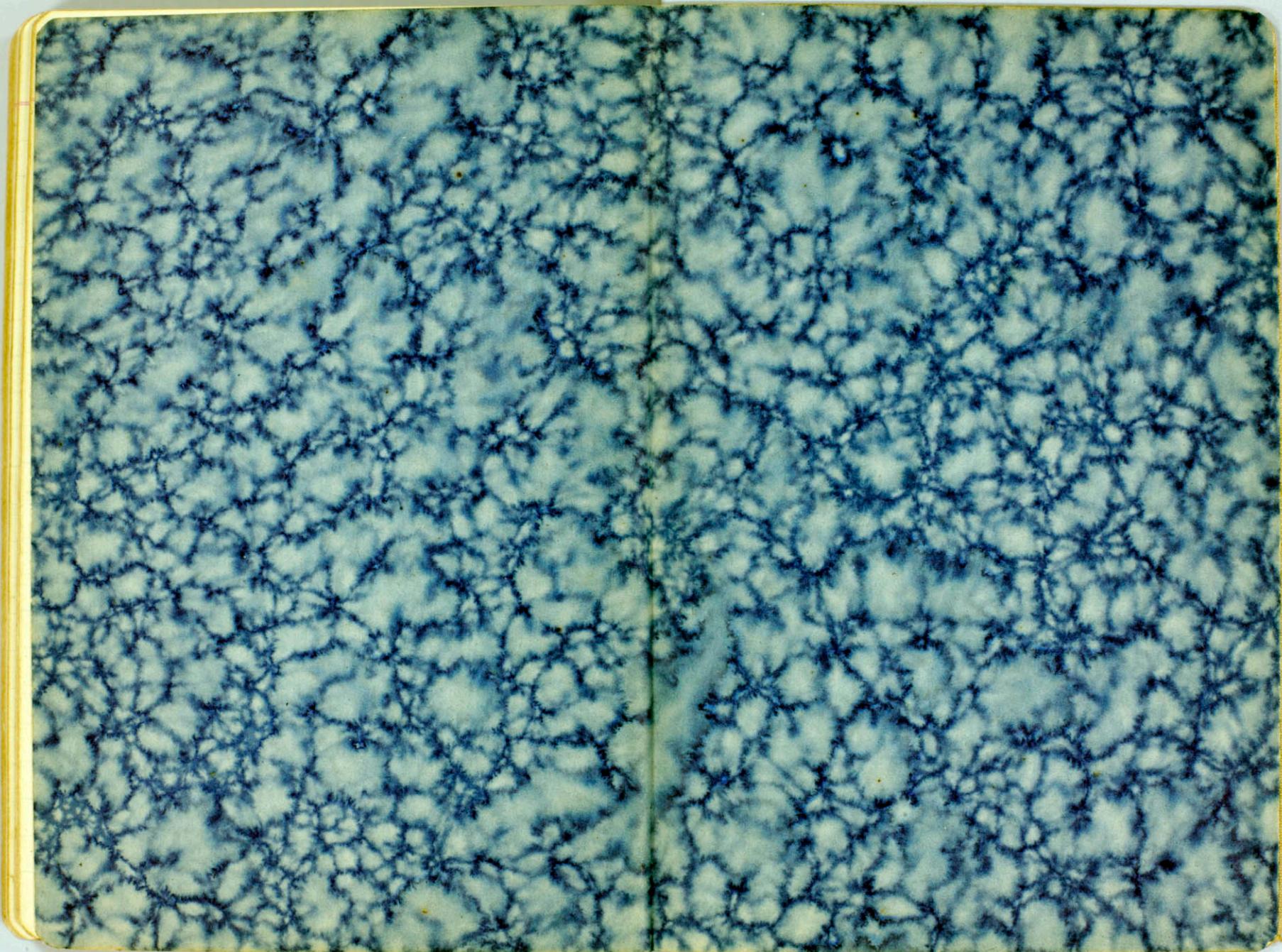
SHIRAUME

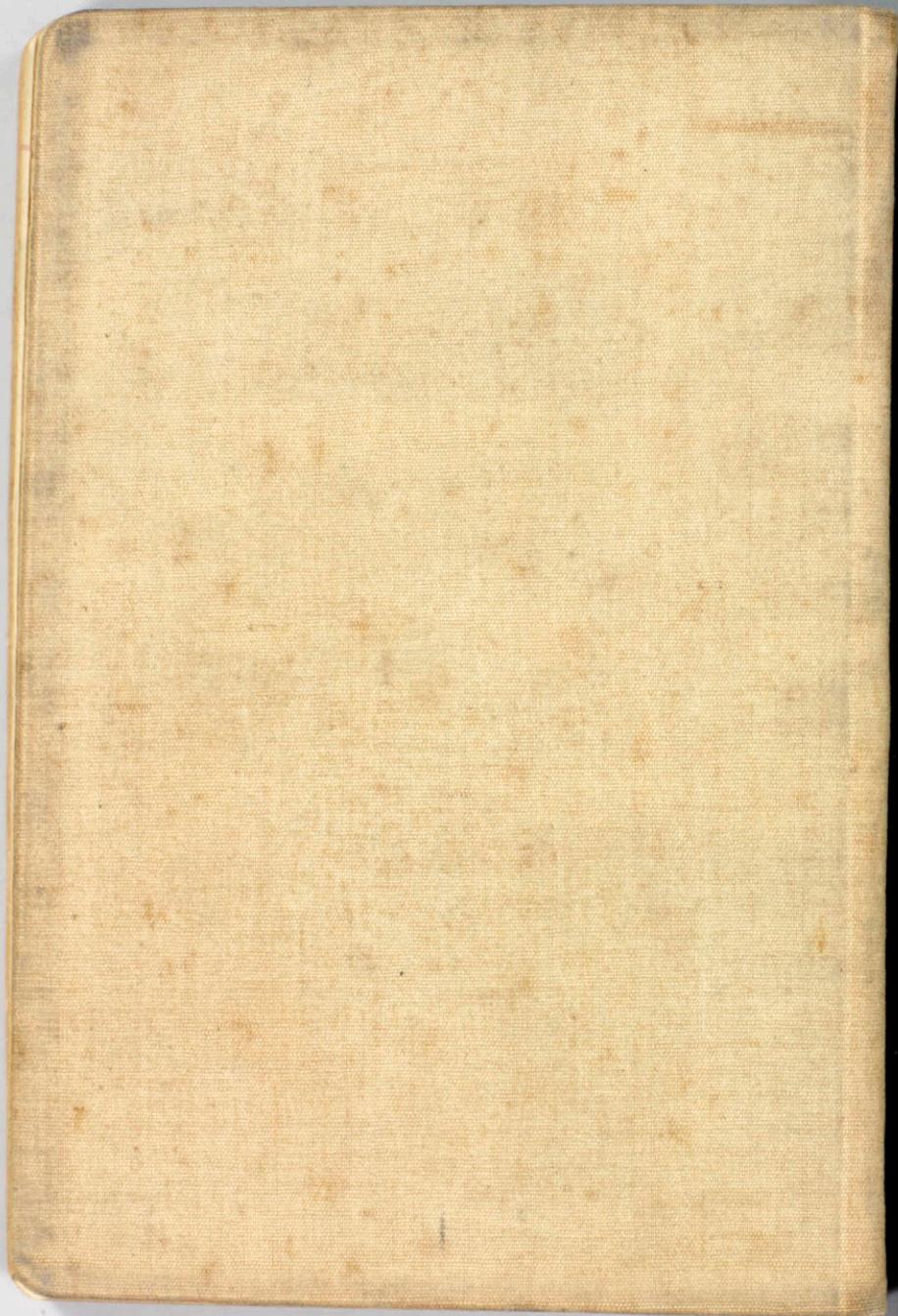
124 29
年 12月 29日

49.60

12月
支那有29
年12月29日

49.60





(+) Suncom 521.
Port 7.00
(Penins 409.50 - 300.00)

(-) Venideng 1100
Kaijo 2500

四月

支那各税金 33.60

1.	2.30	总计 1.50	135.52
2.	3.30	1.50	
3.	5.00	1.50	
4.	8.23	1.20	
5.	9.01	1.50	
6.	10.01	1.50	
7.	11.63	1.50	
8.	17.36	1.50	
		总计 85.00	
		总计 10.00	
		总计 50.00	
		总计 31.56	
9.			
10.			
11.			
12.			
13.			
14.	20.26	总计 2.12	
15.	30.56		
16.	32.46		
17.	32.76		
18.	34.27		
19.	36.75		
20.	37.95		
21.	38.63		
22.			
23.	38.83		
24.	42.83		
25.	48.29		
26.	49.14		
27.			
28.	49.76		
29.			
30.	49.81		
		+ 38.07	50.

163.57
8.50
172.07

○ 機器及工具費用
II/1. 車座心付 17.00 IV/10. 油井車 4.00
1. Gummiband 2.00 .. 材料及工具 1.50

III/1. 布面等修理費 43.07 IV/25. Bilderrahmen 3.00
III/2. 破損修理 47.05 ..
" 1. 安置至四柱 19.30 .

IV/4. 1. 電線及工具 1.00
1. 電線及工具 3.80

IV/16. 1. 2. 鋼本等修理 10.35

IV/18. 1. 五反壹 20.00

16.50
14.85

○ 正 +
III/20. 修理費 7.44

IV/8. " 1.41

IV/15. 接着料 26.00

80.72
73.70 NO.
154.42
20.00
174.42

II/1. 山下先生一
.. 制作費 3.40 IV/9. 電車 18.30
.. 竹筒及竹 2.2 IV/16. 接着料 44.40
IV/5. 二牛找立木 9.50 .. 釘子等 6.00
IV/7. 鋼 3.65 IV/14. 人手及工 20.00
IV/8. 鋼等 20.35
IV/9. 鋼等 22.00

(+) Summation 521
Post 8.00

(-) Versicherung 1100
Kaiyu 2500

五月
入. 108. 36

[四月经营的收入差额 + 38.07]

[四月 12月 31日经营收入 120.00]

1	7.86	总计费	1.50 + 3.00
2	9.98		1.50 + 1.00
3	10.38		
4	15.26	饭食	85.00
5	15.70	烟	50.00
6	18.44	香烟	10.00
7	30.44	车票及过路费	104.98
8	30.79		
9	35.01	其他	2.60 + 15.20
10			3.90
11		汽油	10.30
12		油布用	8.00
13		油	5.00
14			
15		正走足	2.40
16		往返足	4.00
17		一月往返足	3.50
18			
19		饭	1.50
20			
21		房租	2.00
22	35.13		2.37
23	37.78	77	20.00
24	45.71		13.00
25	46.31		
26	47.21		
27	47.51		
28	47.89		
29	50.10		
30			
31	51.85		

[120.00]

(+) Sönnelöns 521
Post 750

(-) Varsichus 1100
Icajo 2500

六月

1	.85
2	1.21
3	2.68
4	3.68
5	5.64
6	6.12
7	7.62
8	11.14
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	

四四四四 5.00
四四 1.00

SHIRAUWE

No.